

非常リモコン

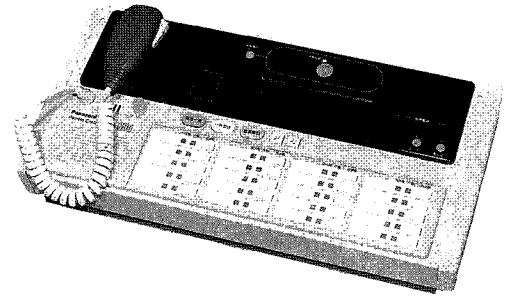
品番 **WR-850**
WR-851

取扱説明書 (工事説明付)

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電



卓上壁掛兼用形WR-850
ラック形 WR-851 写真はWR-850です

特長

- 操作手順を音声と液晶パネルによる文字表示でガイドする簡単操作です。
- 放送階選択スイッチは20局標準装備しています。
- 増設は10/20局単位で最大7ユニット、最大160局まで増設できます。
- 卓上(壁掛兼用)形と、ラックマウント形があります。
- 放送階選択スイッチは本体(非常操作ユニット)と1対1で対応します。

もくじ

●取扱説明

安全上のご注意	2
使用上のお願い	4
表示カードの記入方法	4
非常放送の概要	5
各部の名前と働き	6
非常放送のしかた	9
業務放送のしかた	16
■相互通話(インターホン)機能	17
日常点検	18

●工事説明

設置上のお願い	19
接続のしかた	20
■パネルの開けかたとケーブルの接続	20

■マイクロホンの接続のしかた	20
■ヒューズの交換	21
■配線材について	21
■非常操作ユニットのソフトウェア バージョンアップ品であることの確認	21
■集中非常リモコンとの接続	22
■接続台数について	22
■データ線(LA±、LB±)の距離について	23
■接続例	25
ディップスイッチの設定	27
増設のしかた	27
WR-850の壁掛けのしかた	28
卓上でご使用の場合	30
WR-851のラックマウントのしかた	30
定格・付属品	31
保証とアフターサービス	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

●必ず販売店に依頼してください。

定期的に点検する



非常時に作動しないと、火災や災害を拡大する原因となります。

●点検は販売店や保守契約業者に依頼してください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

●修理や点検は販売店にご連絡ください。

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

●ただちに、販売店にご連絡してください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。

●ただちに、販売店にご連絡ください。

周囲に物を置かない



非常時の操作の妨げになり、火災、災害の拡大の原因となります。

禁止

●指定範囲は常に整理、整頓してください。

重量に耐える取り付けをする



取付の場所や方法が不適切な場合、落下（や転倒）などで、けがの原因となります。

●販売店に依頼してください。

不安定な場所に置かない



落下などでけがの原因となります。

禁 止

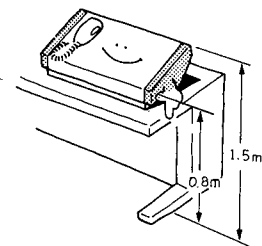
このたびは、パナソニック 非常リモコンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

使用上のお願い

取り付け高さは変えないでください。

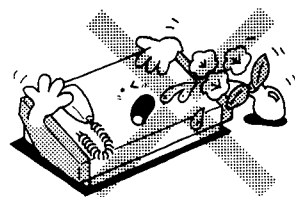
非常リモコンの取り付け高さは床から0.8~1.5mの範囲内と消防法で決まっています。とくに卓上形として使う場合にご注意ください。

☞ 19ページ



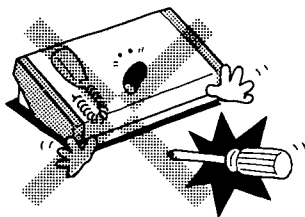
本機の周囲に物を置かないでください。

日常操作はもちろん、非常時の操作の妨げにならぬよう本機の周囲1m以内には障害物を置かないでください。また卓上形として使用する場合、花瓶などを近くに置かないでください。



工事は販売店に

本機を移動する場合は工事が必要です。必ず販売店にご連絡ください。また、この商品は認定品ですから絶対に改造しないでください。



お手入れは

電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

お願い

- 操作部に触れますと、非常放送される場合があります。お手入れする場合は、操作部に触れないようにするか、適切な状況のもとでのみ行ってください。
- 内部の清掃や点検は、販売店にご相談ください。

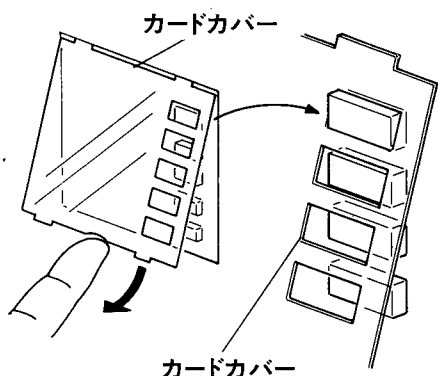
操作説明書は本機の近くに置いてください。

非常時に確実に操作できるよう、付属の「操作説明書」の中で設定に合った非常放送手順のものを本機の近くに置いてください。

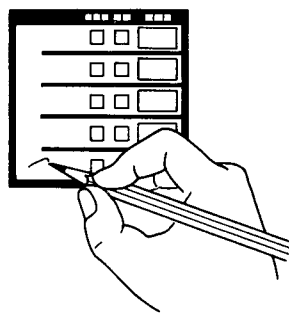


表示カードの記入方法

- 放送階選択スイッチには、各スピーカの設置場所やブロック指定した場所などを記入する表示カードが付いています。
- カードカバー下側中央の溝に爪をかけ、持ち上げながら手前に引くと外れます。

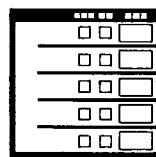
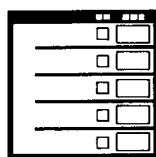


- 下の表示カードにスピーカの設置場所やブロック指定した場所などを記入します。



- 記入後は、カードカバーをもとの位置にはめ込みます。
- 業務選択スイッチに設定した場合は付属の業務選択スイッチ用表示カードを使用します。

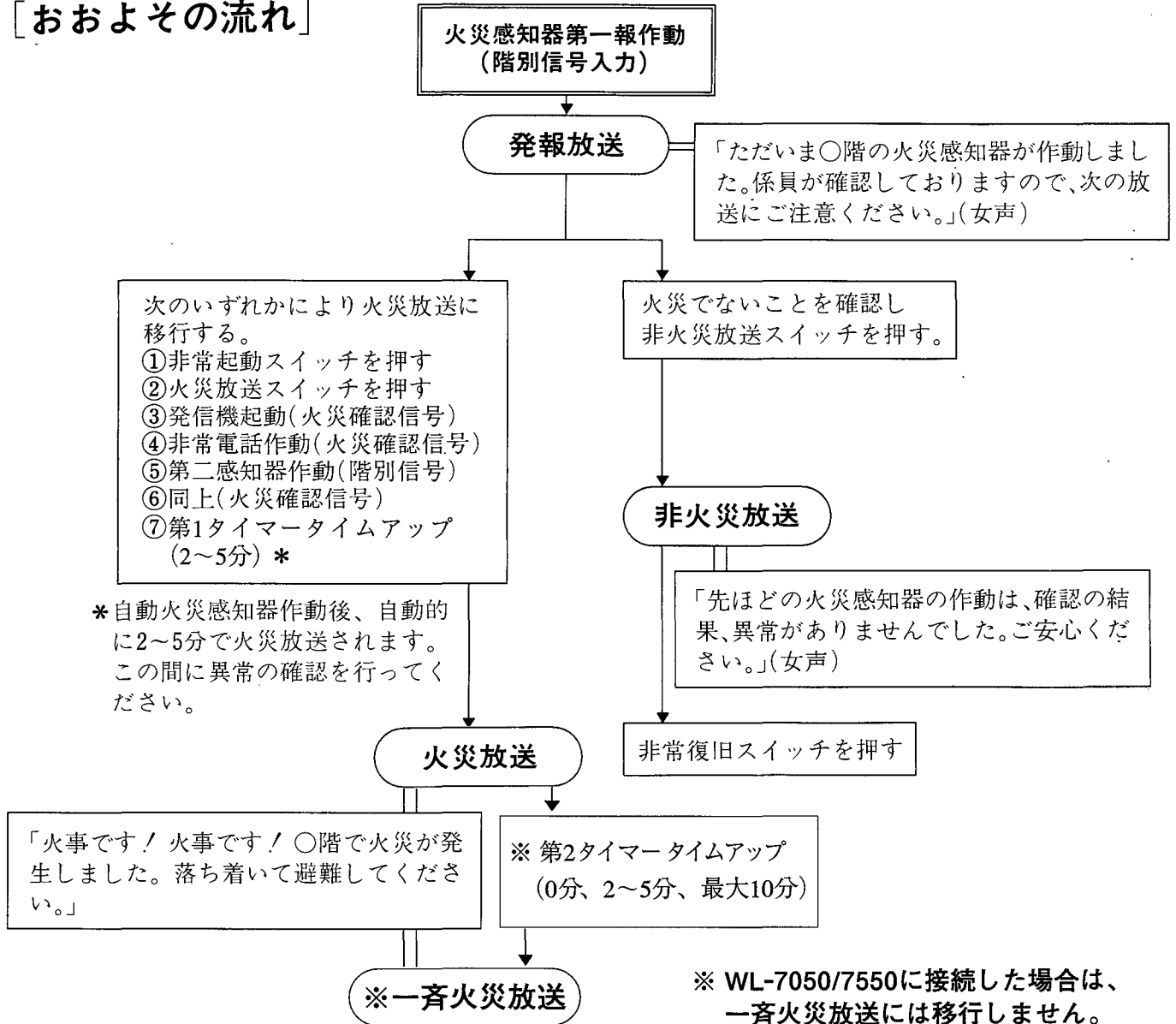
業務選択スイッチ用 非常選択スイッチ用



非常放送の概要

- 非常用放送設備は、火災発生時に音声警報を自動的に放送します。
- 起動方式により操作方法(動作)が異なります。あらかじめ販売店(工事店)から起動方式を確認しておいてください。
- マイク放送は音声警報より優先して放送されます。

【おおよその流れ】

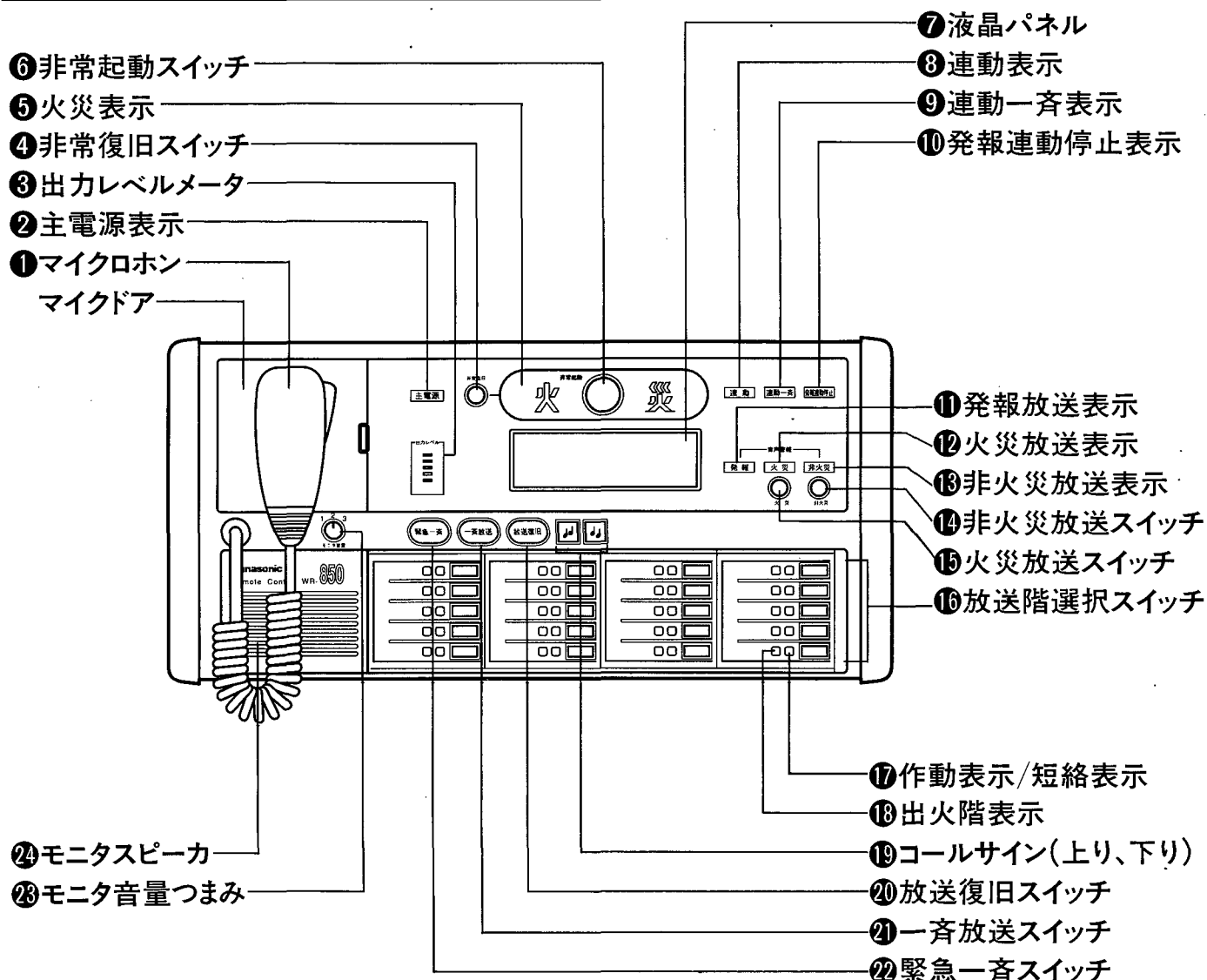


- はじめに火災報知設備より出力された信号を第一報、その次の信号を第二報といいます。
- 階別信号とは、自動火災感知器が火災を検知したことを知らせるため自動火災報知設備から出力される信号です。
- 火災確認信号とは、火災が確定された際に、火災報知設備から出力される信号です。
- 第1タイマータイムアップとは、階別信号受信後、設定した時間（2～5分）が経過すると自動的に火災放送に移行することです。
- 第2タイマータイムアップとは、火災放送が出火階、連動階に放送開始された後、設定した時間が経過すると自動的に全館への一斉火災放送に移行することです。（WL-7050A/7550A接続時）

ご注意

この流れは、発報連動停止スイッチの設定が連動になっている場合のものです。
詳細手順については9ページ以降を参照してください。

各部の名前と働き



用語の説明

非常放送：消防法で定める非常放送設備による火災発生時の放送を指します。

業務放送：一般の呼び出し、連絡、BGMなどの放送を指します。

連動一斉：自動火災感知器と連動し、自動火災感知器動作時に自動的に全館一斉に非常放送できる状態になります。

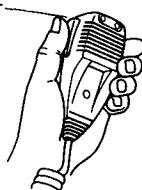
連動：自動火災感知器と連動し、自動火災感知器動作時に自動的に出火階と連動階に、階別非常放送できる状態になります。

発報連動停止：自動火災感知器動作時に発報放送をせず本機のブザーが鳴ります。

手動起動：非常起動スイッチを押し、放送階選択スイッチ・緊急一斉スイッチまたは一斉放送スイッチを押すと、非常放送されます。

①非常、一般業務放送兼用マイクロホン

- マイクを外し、スイッチを押しながら放送してください。



- マイクで業務放送中に非常放送になった場合、マイクでの放送は遮断され、非常放送が優先されます。再度マイクで放送するときは、スイッチを一度離してください。

②主電源表示(緑色) [主電源]

- 常用電源(AC100V)が使用されているとき、緑色に点灯します。
- 非常電源(DC24V)動作時にも点灯します。

③出力レベルメータ [出力レベル]

- 非常リモコンからの音量の出力レベルを表示します。

④非常復旧スイッチ [非常復旧]

非常放送モードでこのスイッチを押すと非常放送モードを終了します。

⑤火災表示(赤色)

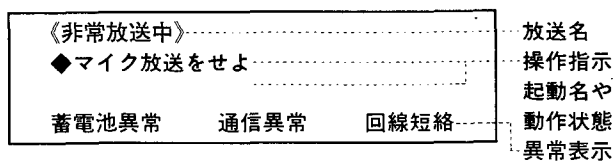
- 非常起動スイッチ⑥を押したときに点灯します。ただし、第1タイマー作動中は点滅します。
- 自動火災感知器からの非常起動により、点灯または、点滅します。
発報連動のとき……………点灯
発報連動停止のとき……………点滅

⑥非常起動スイッチ [非常起動]

手動で非常放送するときはこのスイッチを押してください。
このときは、定められたタイマー時間で、自動的に火災放送に移行します。

⑦液晶パネル

非常放送時の操作指示、異常時の表示、動作状態などを表示します。



⑧連動表示(赤色) [連動]

「連動」に設定されているとき点灯します。
点灯中に、自動火災感知器動作時は、非常放送を出火階、連動階に放送します。

⑨連動一斉表示(赤色) [連動一斉]

「連動一斉」に設定されているとき点灯します。
点灯中に、自動火災感知器動作時は、非常放送を一斉に放送します。

⑩発報連動停止表示(赤色) [発報連動停止]

「発報連動停止」に設定されているとき点灯します。

⑪発報放送表示(オレンジ色) [発報]

発報放送時に点灯します。

⑫火災放送表示(赤色) [火災]

火災放送時に点灯します。

⑬非火災放送表示(緑色) [非火災]

非火災放送時に点灯します。

⑭非火災放送スイッチ [非火災]

このスイッチを押すと非火災放送表示(緑色)が点灯し非火災放送が放送されます。

⑮火災放送スイッチ [火災]

このスイッチを押すと火災放送表示(赤色)が点灯し火災放送が放送されます。

⑯放送階選択スイッチ [放送階選択]

- 放送したいブロック(部屋、エリア)または階の選択スイッチを押します。(作動表示が点灯)

- 選択スイッチを個別に復旧するときは、再度そのスイッチを押します。(作動表示が消灯)
- 全部の選択スイッチを復旧するときは、放送復旧スイッチを押します。(すべての作動表示が消灯)

ご注意

放送階選択スイッチ⑯の数が多い場合は、スイッチを押してから動作するまで少し時間がかかります。

⑰作動/短絡表示(緑色) [作動]

- 選択スイッチを押すと、作動表示灯が点灯します。
- 一斉放送スイッチを押すと、すべての作動表示が点灯します。
- 非常時には出火階または、連動階の作動表示が点灯します。
- 入力マトリクスを使用している場合は、入力1で放送しているときのみ作動表示が点灯します。
- スピーカ回線が短絡すると、短絡した階の作動表示が点滅します。このときは、販売店または、保守契約店にご連絡ください。

⑱出火階表示(赤色) [出火階]

- 自動火災感知器が起動したとき点灯し、出火階を表示します。
- ひとつの階に複数の放送エリアがあるとき、その階のすべての出火階表示が点灯します。

⑲コールサインスイッチ

放送したい場所の放送階選択スイッチを押した後に、コールサインスイッチを押すと、コールサインが鳴ります。放送の前後に押しください。



上り4音

下り4音

⑳放送復旧スイッチ [放送復旧]

放送が終了したら、押しください。

㉑一斉放送スイッチ [一斉放送]

- 一斉放送するときに押します。
- アッテネータ(音量調整器)付スピーカをご使用のときは、アッテネータが「OFF」のときは放送することができません。

㉒緊急一斉放送スイッチ [緊急一斉]

- 一斉放送するときに押します。
- アッテネータ(音量調整器)付スピーカをご使用のときは、アッテネータが「OFF」のときでも放送することができます。(ただし、3線式配線の場合に限りです)

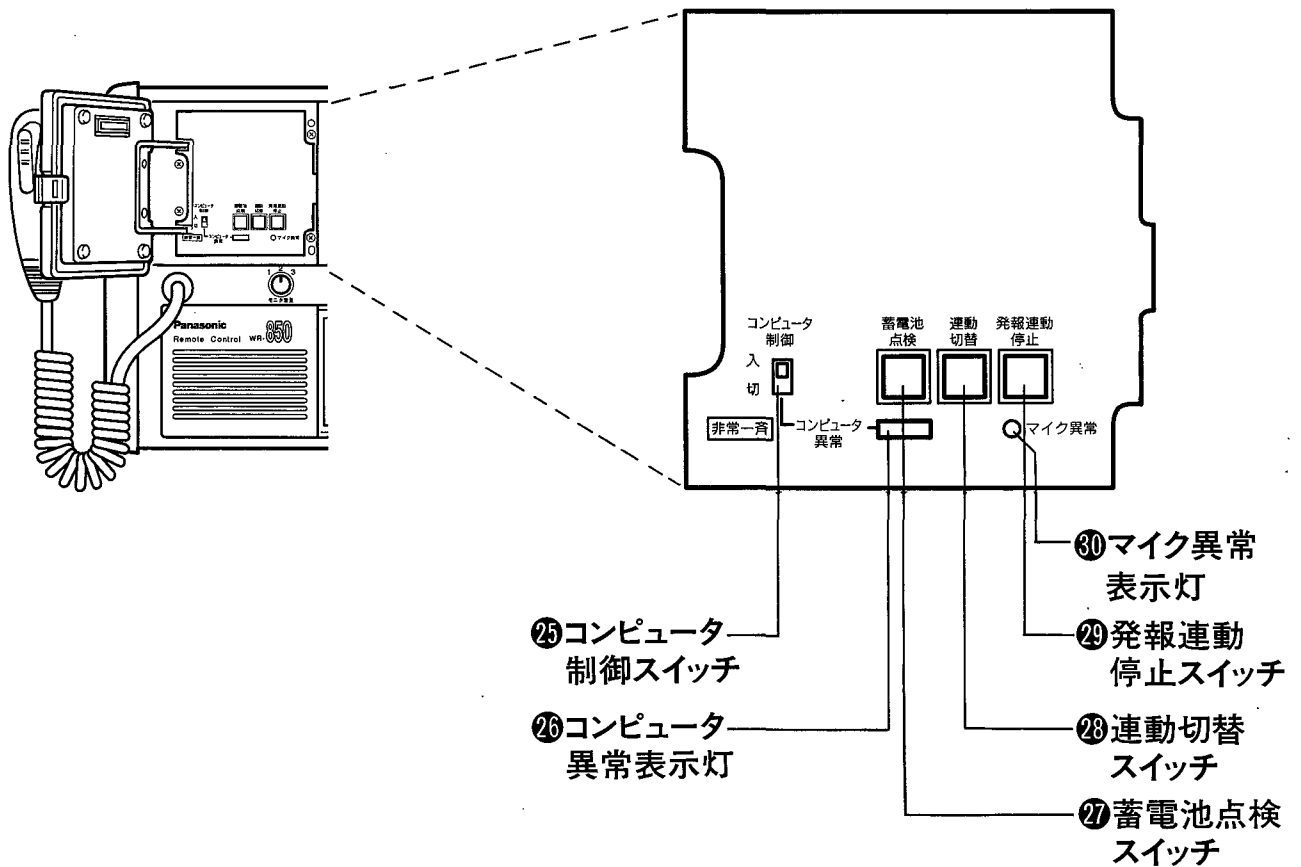
㉓モニタ音量つまみ [モニタ音量]

モニタスピーカの音量を3段階に調節します。

㉔モニタスピーカ

放送状態を確認できます。
ハウリング防止のため、マイクのスイッチを押すとモニタスピーカの音が小さくなります。

●マイクドア内



②⑤ コンピュータ制御スイッチ

[コンピュータ制御 入/切]

- 通常は必ず「入」位置にしてください。
- 異常が発見され、修理した後、このスイッチを「切」にしてから「入」にすると、正常の動作に戻ります。

●コンピュータ異常時に放送するとき、「切」にすると一斉マイク放送ができます。

②⑥ コンピュータ異常表示灯(赤色)

コンピュータ異常時、点灯します。

②⑦ 蓄電池点検スイッチ [蓄電池点検]

蓄電池の手動点検用のスイッチです。
スイッチを押したとき、蓄電池に異常があれば、ブザーが鳴るとともに液晶パネルに蓄電池異常と表示されます。

②⑧ 連動切替スイッチ [連動切替]

押すたびに「連動一斉」↔「連動」と切り換わります。

連動一斉：自動火災感知器と連動し、全館一斉に非常放送されます。

(「連動一斉」表示点灯)

連 動：自動火災感知器と連動し、出火階、連動階に非常放送されます。

(「連動」表示点灯)

②⑨ 発報連動停止スイッチ

押すたびに「発報連動」↔「発報連動停止」と切り換わります。

発報連動停止：自動火災感知器の動作時に発報放送が放送されません。手動または自動により火災放送に移行します。

(「発報連動停止」表示⑩点灯)

発 報 連 動：自動火災感知器の動作によって、発報放送を行います。(「発報連動停止」表示⑩消灯)

③⑩ マイク異常表示灯

マイクロホンがはずれている場合などに点灯します。

非常放送のしかた

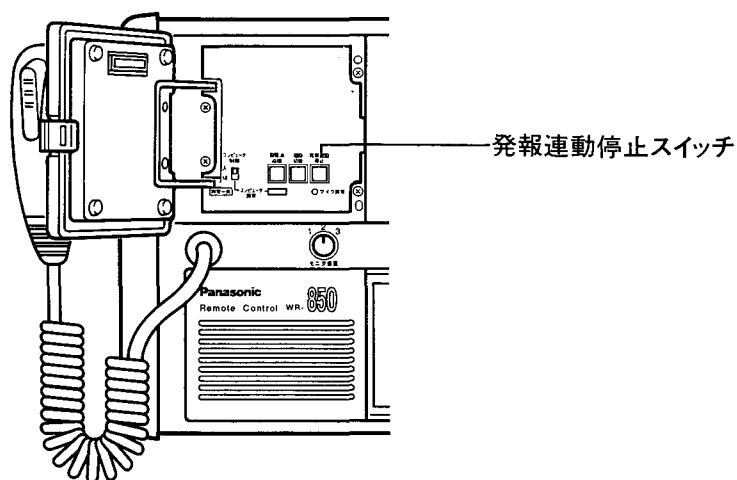
- 内部の設定は自動火災感知器と連動して自動的に非常放送されます。
- 内部の設定により火災発生時の非常放送の手順が異なります。
事前に販売店(工事店)から起動方式を確認しておいてください。

[起動方式別参照ページ一覧表]

起動方式(入力)	自動/手動	発報連動停止スイッチの設定		※発報火災切換スイッチの設定	
		発報連動	発報連動停止	発報放送	火災放送
火災感知器(第一報)	自動	10ページ参照	11ページ参照		
発信機、非常電話	自動				
非常起動スイッチを押す	手動			14ページ参照	15ページ参照

※非常リモコンにはありません(非常操作ユニット側で設定)

- マイクドア内



- マイク放送について

- ・ マイク放送は、音声警報より優先して放送されます。状況を把握し、マイクで放送してください。
- ・ マイクで業務放送中に非常放送が入った場合は、マイクでの放送は遮断され非常放送が優先されます。
- ・ マイク放送後は、下記の状態になります。

「発報放送」中のマイク放送後 : 無音、第1タイマー継続 (WL-7050/7550接続時は第1タイマー停止)

「非火災放送」中のマイク放送後 : 無音

「火災放送」中のマイク放送後 : シグナル音が鳴ります

- 放送復旧スイッチを押した後の動作について

「発報放送」中の放送復旧後 : 無選択、無音、第1タイマー継続 (WL-7050/7550接続時は第1タイマー停止)

「非火災放送」中の放送復旧後 : 無選択、無音

「火災放送」中の放送復旧後 : 無選択、無音 (WL-7050, 7550接続時はシグナル音鳴動)

注) 第2タイマータイムアップによる「一斉火災放送」中は、放送復旧スイッチは無効となります。

- 連動表示が点灯している場合

自動火災感知器、発信機または非常電話からの起動による非常放送は、出火階と連動階に放送されます。

- 連動一斉表示が点灯している場合

自動火災感知器、発信機または非常電話からの起動による非常放送は、全館一斉に放送されます。

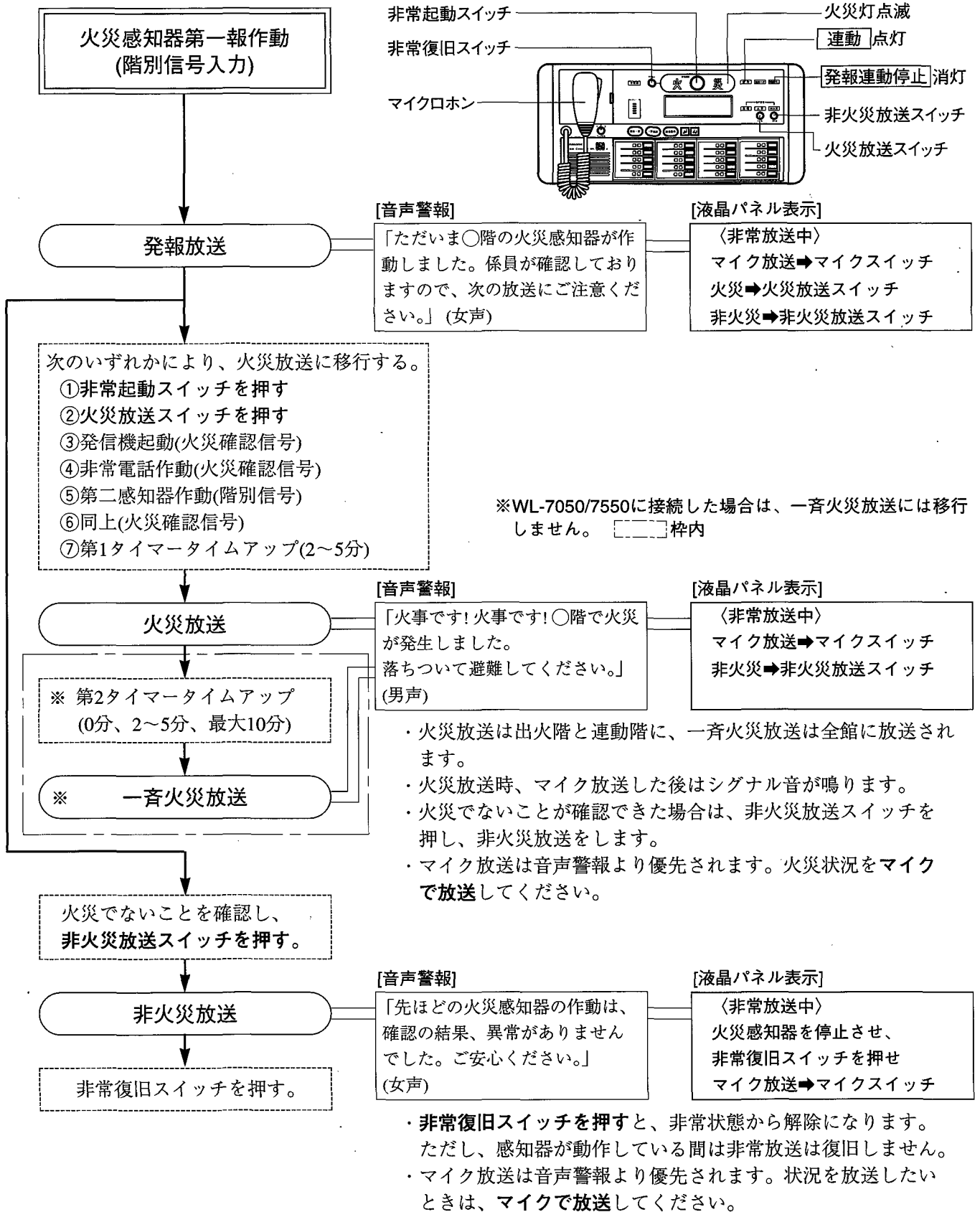
- アナウンスユニットを優先して放送する場合

アナウンスユニットを手動で起動させ、内蔵された音声警報メッセージよりアナウンスユニットを優先して放送することができます。このようなシステムを組まれている場合は、非常放送のしかたについて販売店(工事店)より説明を受けてください。

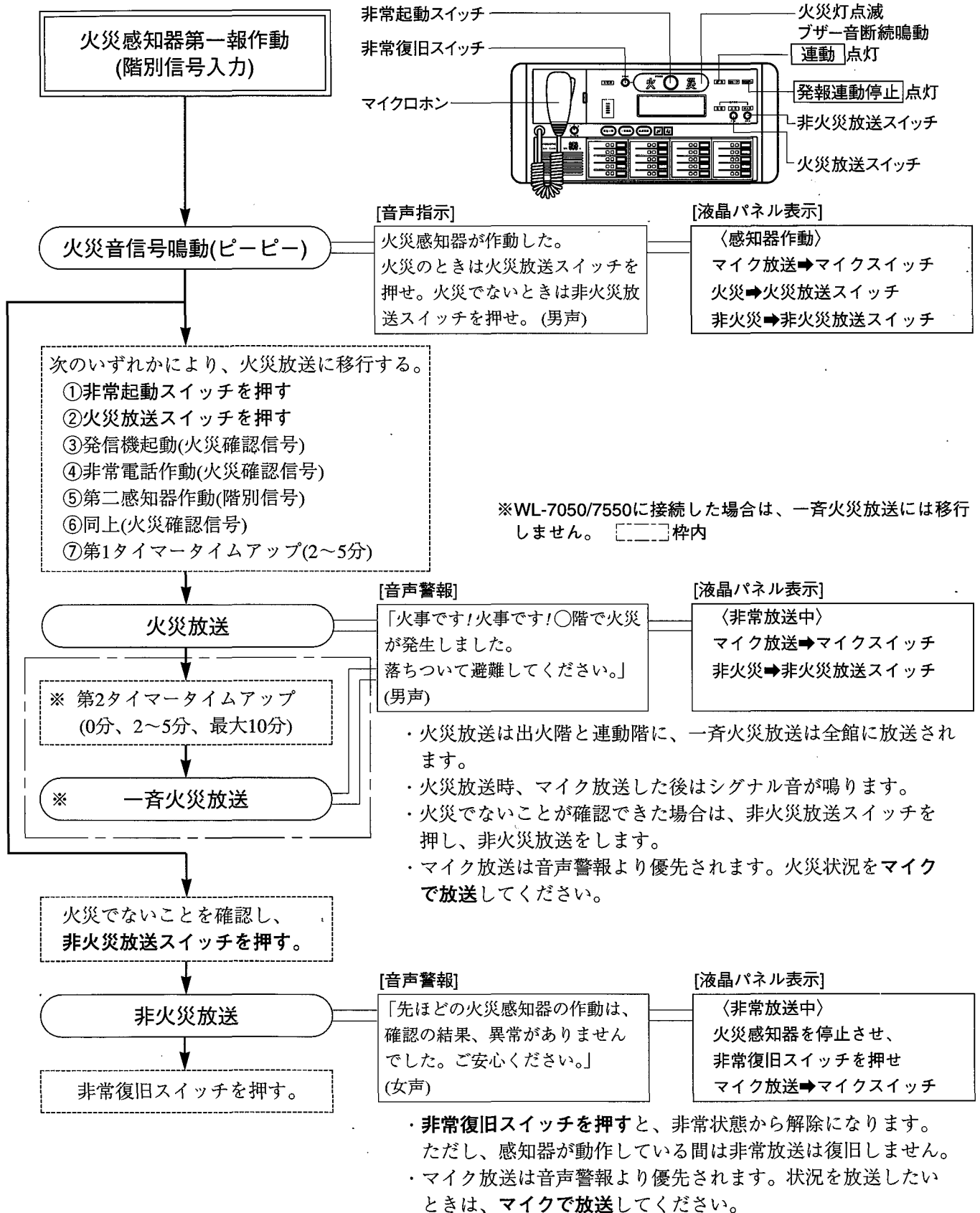
非常放送のしかた

■火災感知器から起動する場合

●発報連動停止スイッチの設定が「発報連動」の場合



●発報連動停止スイッチの設定が「発報連動停止」の場合

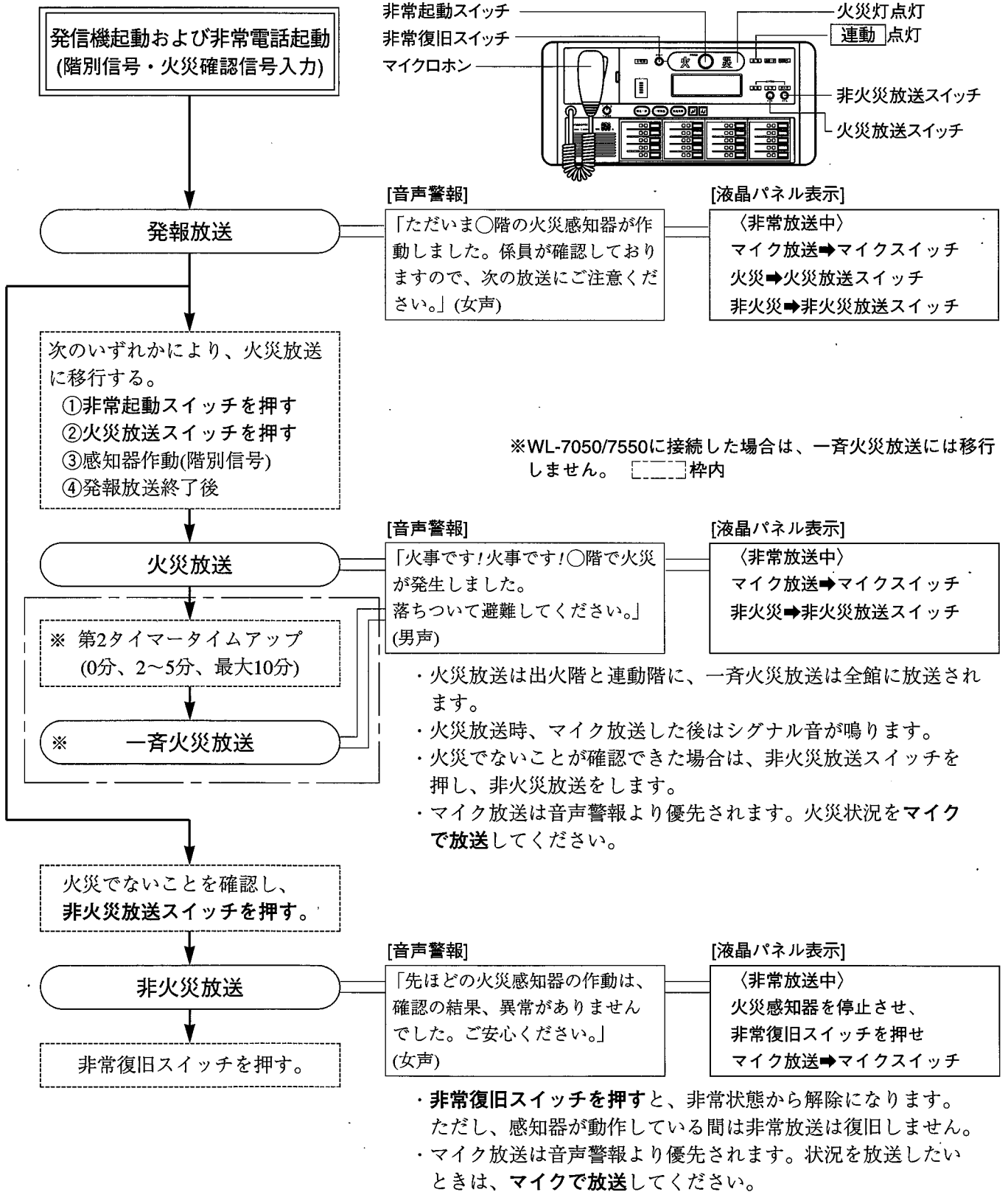


非常放送のしかた

■発信機および非常電話から起動する場合

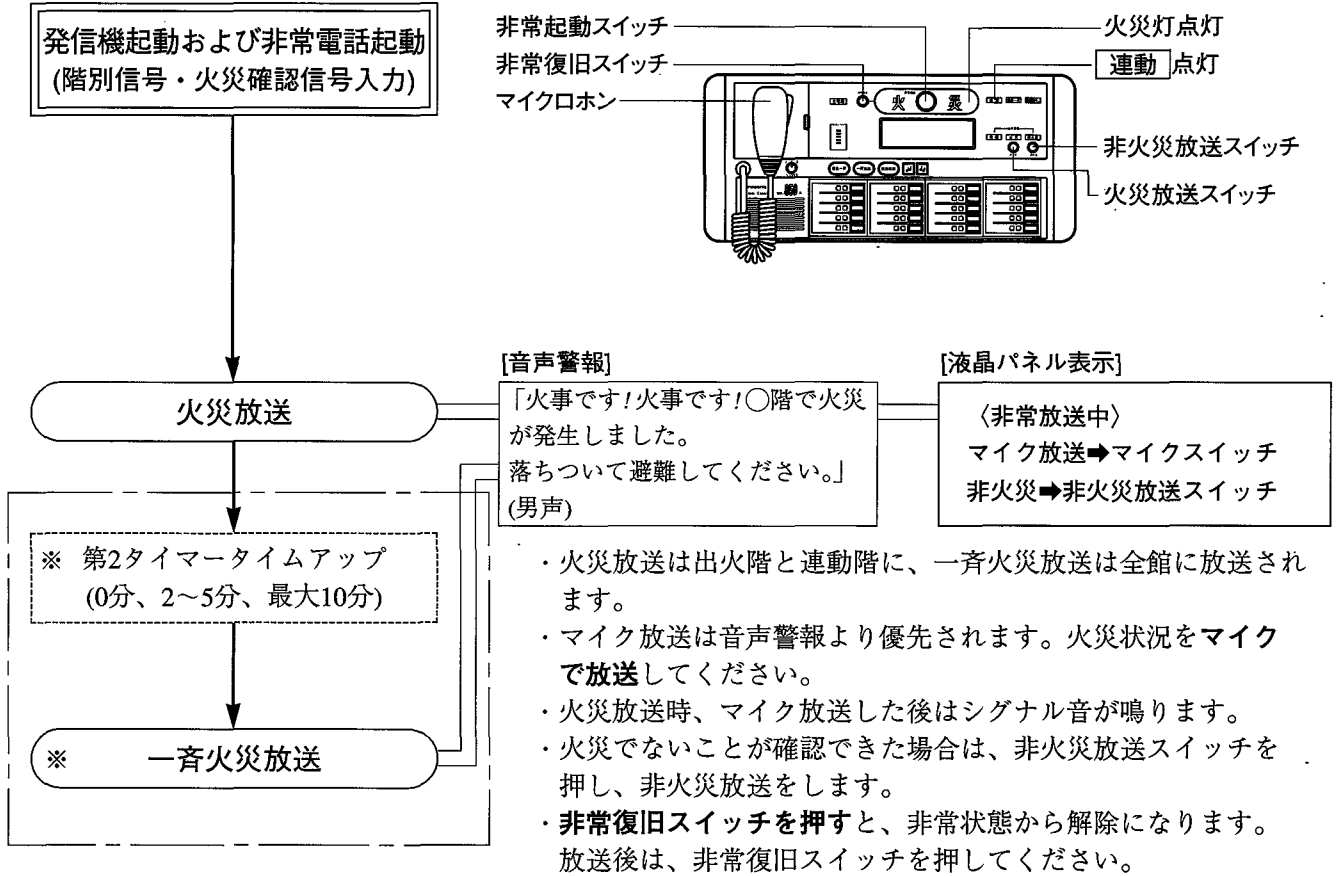
●発報火災切換スイッチの設定が「発報放送」の場合

設定は、非常操作ユニット側で行ないます。



●発報火災切換スイッチの設定が「火災放送」の場合

設定は、非常操作ユニット側で行ないます。



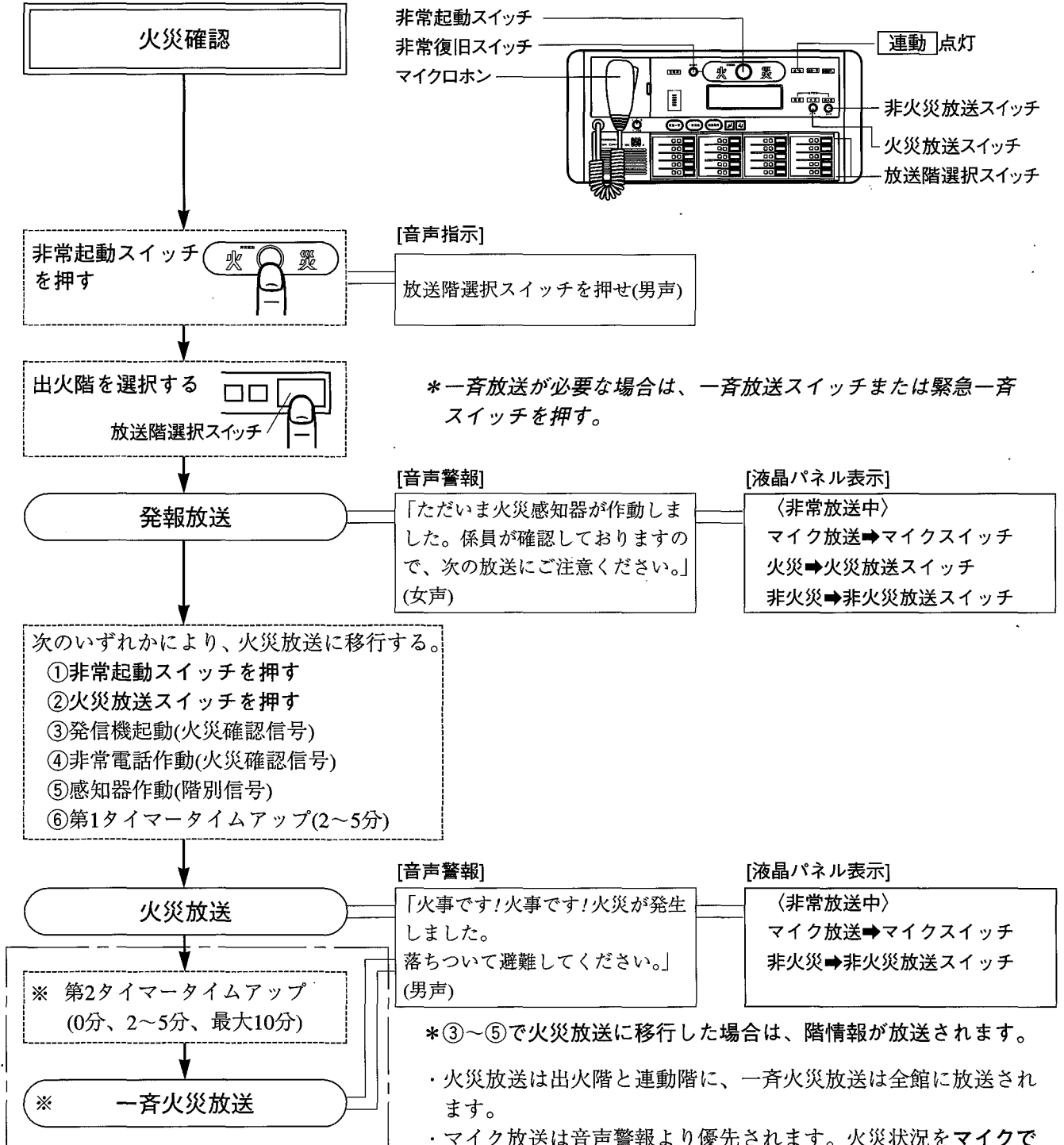
※WL-7050/7550に接続した場合は、一斉火災放送には移行しません。□枠内

非常放送のしかた

■手動で起動する場合

●発報火災切換スイッチの設定が「発報放送」の場合

設定は、非常操作ユニット側で行ないます。

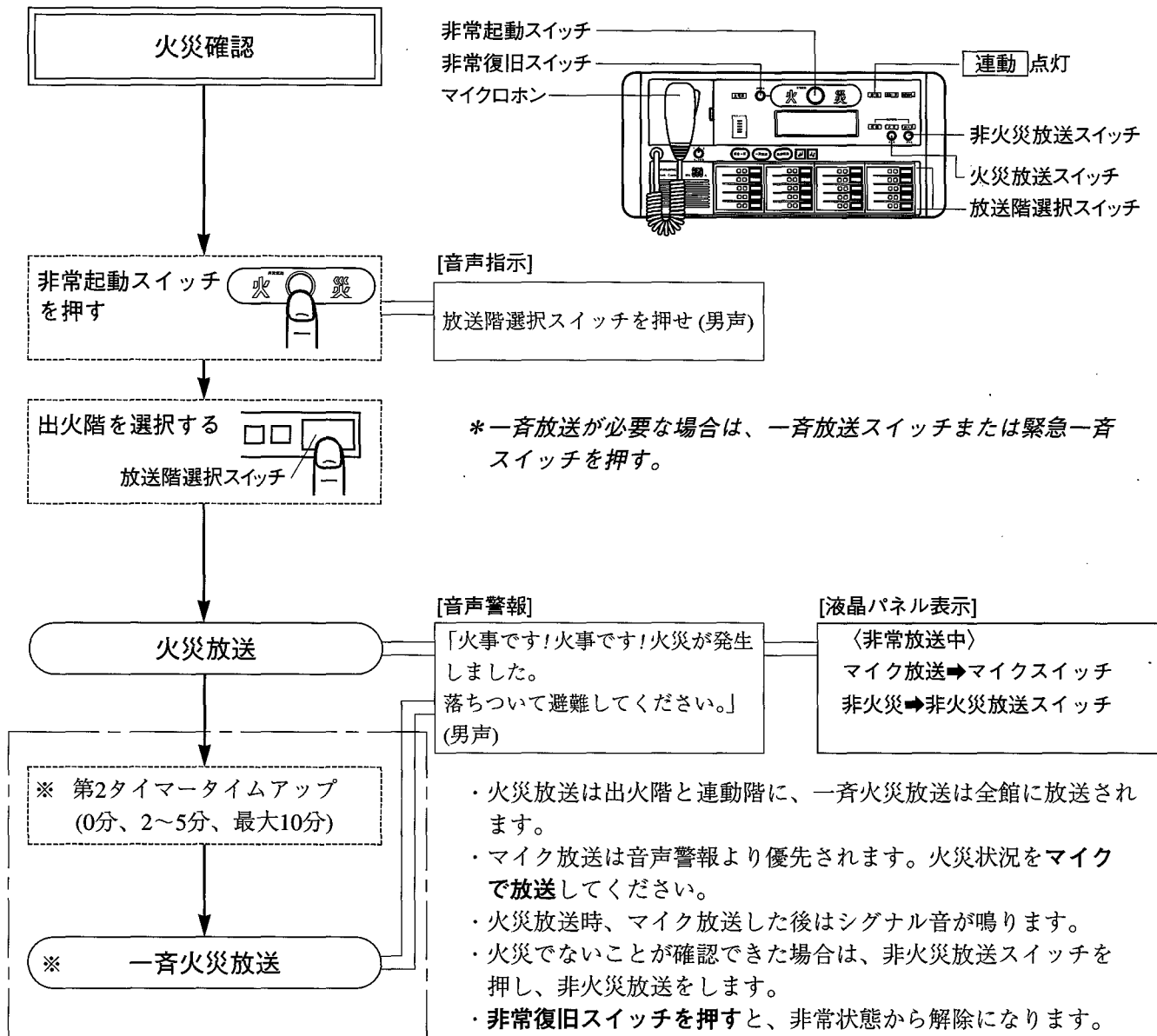


※WL-7050/7550に接続した場合は、一斉火災放送には移行しません。

□ 枠内

● 発報火災切換スイッチの設定が「火災放送」の場合

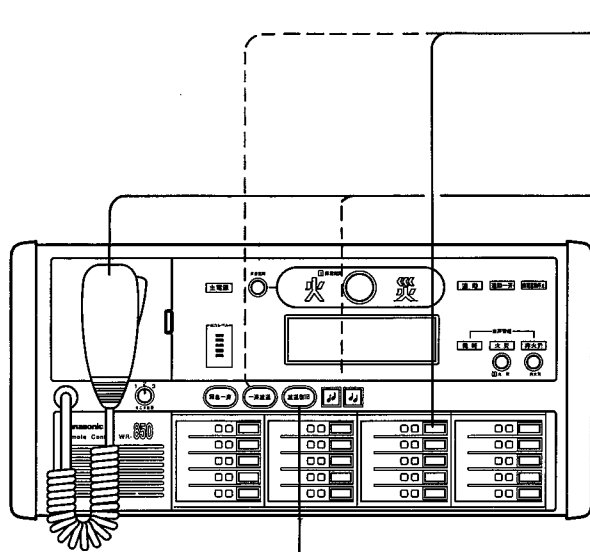
設定は、非常操作ユニット側で行ないます。



※WL-7050/7550に接続した場合は、一斉火災放送には移行しません。

□ 枠内

業務放送のしかた



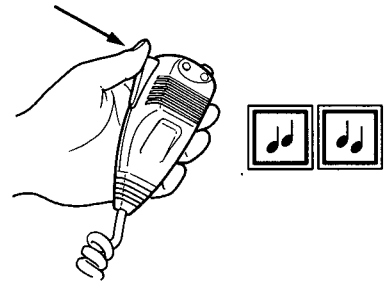
1 放送階選択スイッチを押す。

- 全館一斉に放送するときは、一斉放送スイッチを押します。

2 マイクを外し、スイッチを押しながら放送してください。

- 放送の前後にコールサインスイッチを押してください。(コールサインが鳴ります。)

スイッチを押す



3 放送が終わったら、放送復旧スイッチを押す。

- 個別に復旧するときは、それぞれの放送階選択スイッチを押します。

液晶パネル

〈業務放送中〉
非常RM1

液晶パネルの表示

- マイクで業務放送中に非常放送になった場合、マイクでの放送は遮断され、非常放送が優先されます。再度マイクで放送するときは、スイッチを一度離してください。

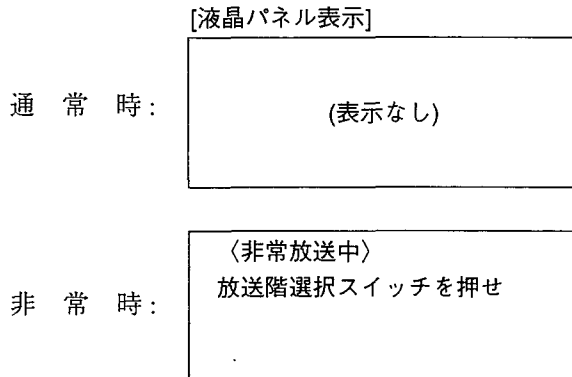
■相互通話(インターホン)機能

放送が行われていないときは、非常操作ユニットと非常リモコン、集中非常リモコン間で、マイクロホンを使っての相互通話(インターホン)をすることができます。

(非常時で放送階が選択されている場合は、マイクロホンの音声は放送されます。)

●相互通話のしかた

1 放送が行われていないことを液晶パネルで確認する

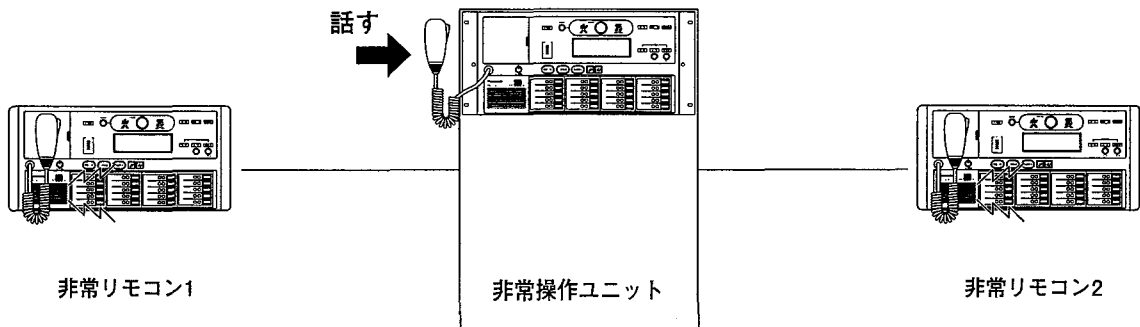


※放送階選択スイッチが押され、表示が左記以外になると、マイク音声は放送階へ放送されます。

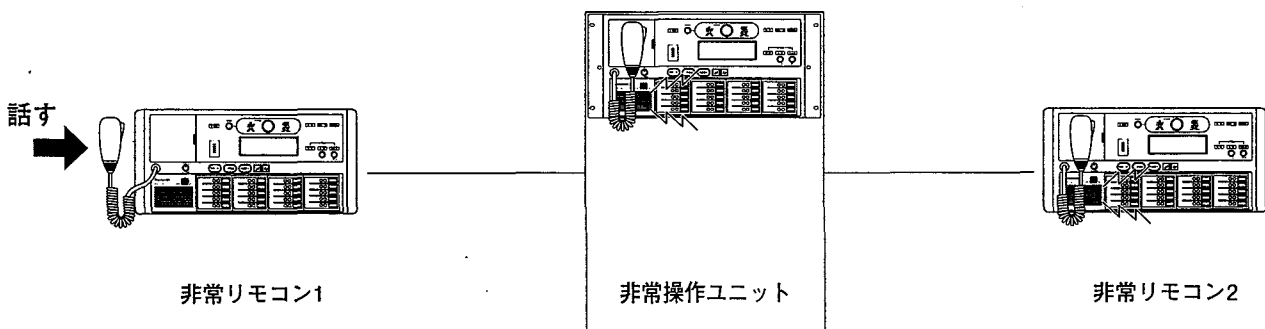
2 マイクロホンを取り、マイクスイッチを押しながら話す

音声が出力されていることは、自身のモニタスピーカからの出力で確認できます。

- ・非常操作ユニットのマイクロホンからの音声は、つながっている全非常リモコンのモニタスピーカから出力されます。



- ・非常リモコンのマイクロホンからの音声は、非常操作ユニットと他の非常リモコンのモニタスピーカから出力されます。



メモ

放送が行われていないときにマイクロホンのスイッチを押すと、電源が制御され電力増幅ユニット等のAC100V機器の電源が入ります。

日常点検

お願い

万一の際、的確に機器が動作するよう日常点検をおこなってください。
日常点検時に異常を発見したときは、ただちに販売店または、保守契約店にご連絡ください。
修理、復旧を実費でおこないます。くわしくは販売店にご相談ください。

■点検について

- 本機には、セルフチェック機能があり、コンピュータがリモコン回線、スピーカ回線を常時点検し、24時間おきに蓄電池の点検を行います。(自動点検)
- コンピュータが異常を発見すると液晶パネルに異常表示を行います。
- 作動表示灯が点滅している箇所は、その回線のスピーカ回線保護ヒューズが切れています。
- 蓄電池に異常があると液晶パネルに「蓄電池異常」と表示され、ブザー音(ピー)が断続鳴動します。どれかのスイッチを押すとブザー音は止まります。(「蓄電池異常」は出たままです。)

- ヒューズ切れや異常表示が発生したときは、販売店または保守契約店にご連絡ください。

液晶パネル

蓄電池異常 通信異常 回線短絡

異常表示

■蓄電池の点検

●手動点検

手動で点検するときは、次の手順で行ってください。

- 1 マイクドアを開け、蓄電池点検スイッチを押してください。
- 2 蓄電池に異常があると液晶パネルに「蓄電池異常」と表示され、ブザー音(ピー)が断続鳴動します。
- 3 どれかのスイッチを押して、ブザー音を止めて、販売店または、保守契約店にご連絡ください。
 - 手動点検を行うと、それから24時間おきに自動点検を行います。

保守契約のお願い

- 消防法により定期点検、消防署への報告および点検結果の維持台帳への記録が義務づけられています。
- 建物の規模、用途によっては消防設備士または、総務大臣が認めた有資格者が点検しなければなりません。
- 非常用放送設備が常に正しく動作するために保守契約のご締結をおすすめします。
保守契約の締結については、販売店、工事店または販売会社にお問い合わせください。
- 保守契約をしていただくことは、ご使用者にかわって「消防設備士」・「消防設備点検資格者」が定期点検をお引受けするわけですから保証期間内であっても定期点検業務については有償となります。

工事説明

本機の工事は、必ず販売店に依頼してください。
取扱説明とあわせてお読みください。

設置上のお願い

●認定品ですから改造は絶対にしないでください。

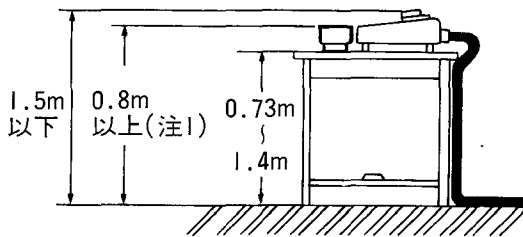
●取り付け高さにご注意

取り付け高さは法律上の規制があります。非常起動スイッチから操作スイッチ下部までが床面から0.8m~1.5mに収まるように設置してください。(壁掛にする場合)(収まらないときは、横に並べてください。)

●ラック形の場合

ラック形(WR-851,WK-810,WK-820,WK-810A,WK-820A)の場合は本体収納と同じです。

●卓上型の場合



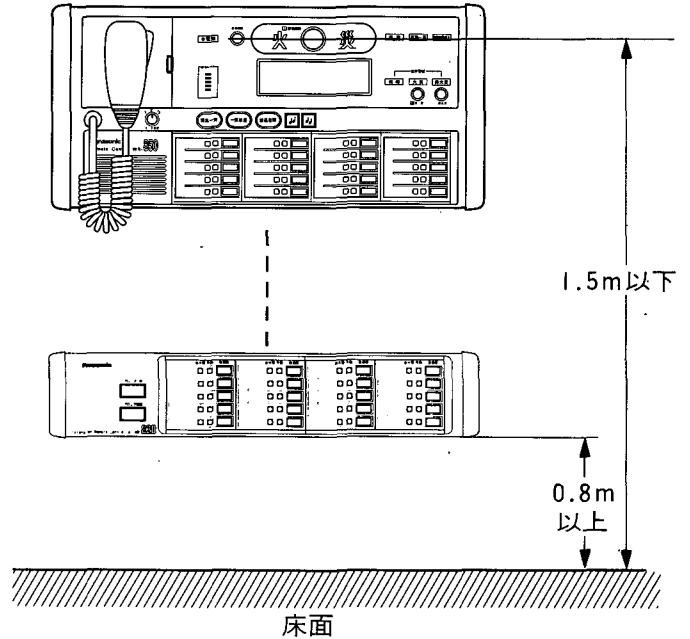
(注1) 椅子に座って操作するものは0.6m以上。

●設置場所について

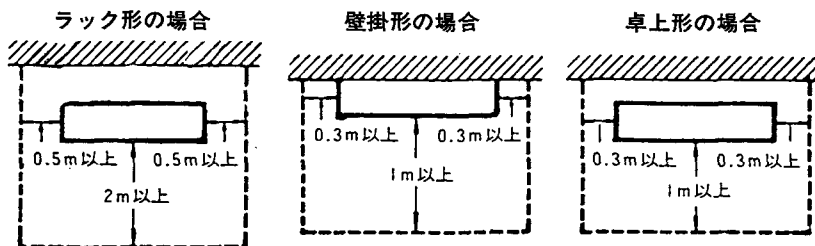
非常用放送設備の設置場所は、消防法上の基準を満足するものでなければなりません。法令では具体的に表示されておきませんので非常用放送設備委員会では次のように指導しています。

●避難階、その連動階及び連動階の避難上有効な出入口付近の場所で安全に避難でき、壁、床及び天井が不燃材料で造られ、開口部に甲種防火戸又は乙種防火戸を設けた場所。

●壁掛形の場合



- 温度又は湿度が適切で、衝撃、振動などの影響を受けるおそれのない場所。
- 守衛室など常時人のいる場所であること。
ただし、防災センター又は中央監視室が設けられている場合は、これらの場所に設置すること。
- 点検及び操作に有効な保有空間を下図のように有しかつ、防火上有効な措置を講じた位置に設けること。



(注)点線内は必要な空間

●周囲には障害物を置かないでください。

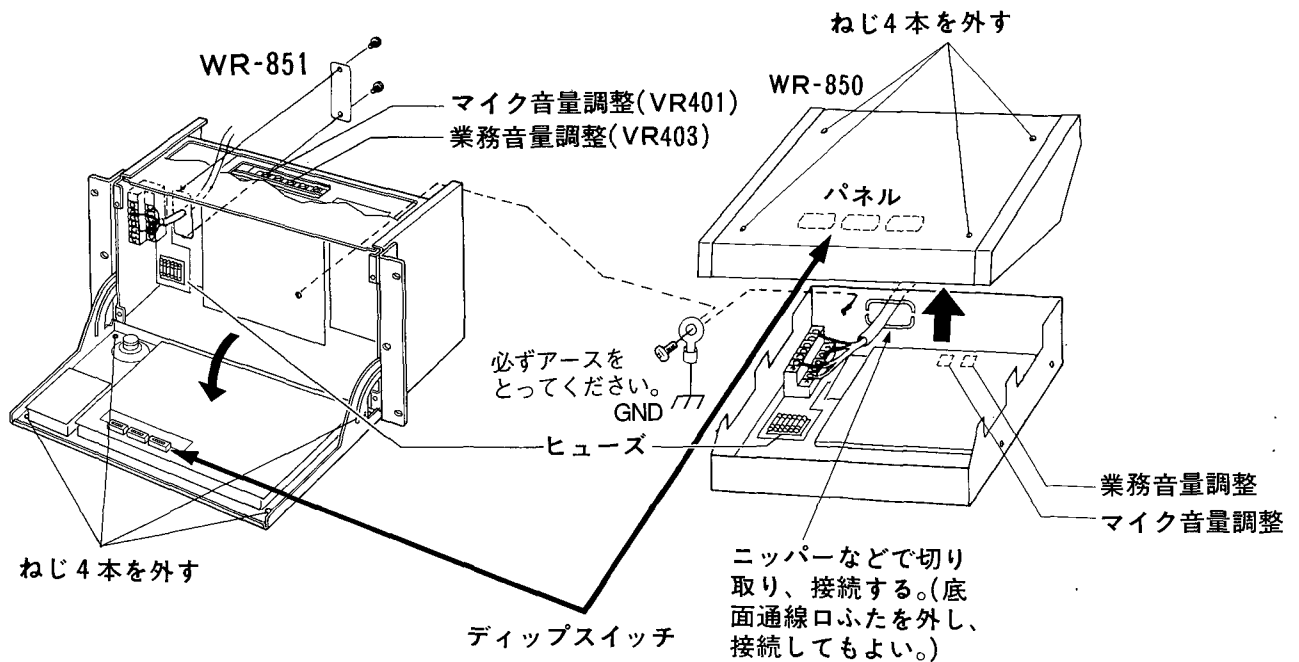
●アースを必ずとってください。

●操作説明書は非常時に確実に操作できるように、本機の近くに置いてください。

収納ケース内の操作説明書を取り出し、設定した起動方式の操作説明書を切り離して、収納ケースに入れてください。

接続のしかた

■パネルの開けかたとケーブルの接続

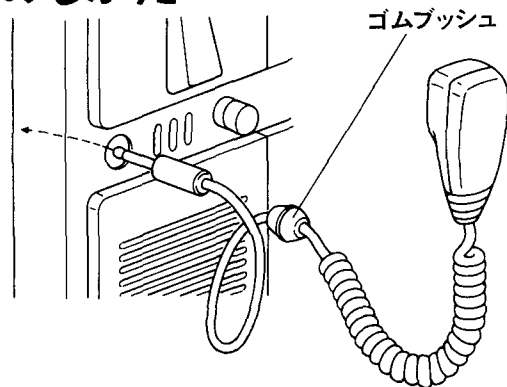


お願い

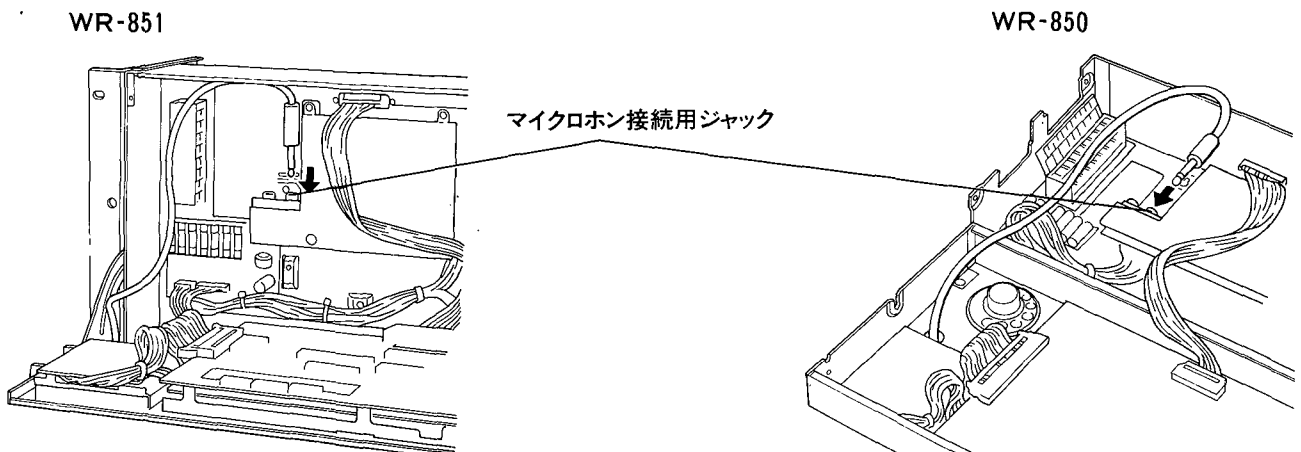
非常リモコン (WR-850/851) を5台以上 (最大7台) 接続した場合は、並列接続した非常リモコンのマイク入力、業務入力の音量が下がります。
 並列接続した非常リモコンは2台共マイク音量調整 (VR401)、業務音量調整 (VR403) で音量を調整してください。

■マイクロホン(付属品)の接続のしかた

① マイクロホンプラグを穴に差し込んで後へ通し、ゴムブッシュをパネルにはめ込み固定します。



② 前面パネルを開け、マイクロホンのプラグを基板のジャックに差し込みます。



接続のしかた

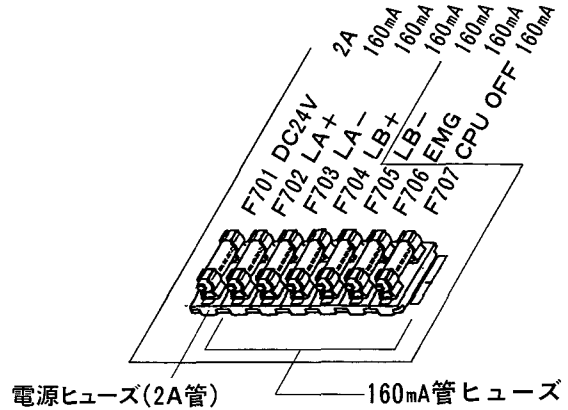
■ヒューズの交換

ヒューズが切れた場合は端子間の誤接続が考えられますので、接続を再度確認してからヒューズを交換してください。

内蔵ヒューズ

		ヒューズ容量
データ線	LB+	DC160mA
	LB-	DC160mA
	LA+	DC160mA
	LA-	DC160mA
	CPU OFF	DC160mA
	EMG	DC160mA
電源線DC24V		DC2A

予備の
160mA管ヒューズ
6本付属



■配線材について……必ず消防用認定耐熱対形ケーブル(ペア線):6対以上を使用してください。

※6対(6ペア)の内訳は、信号線で5ペア、電源線で1ペア使用します。

●電源線(24Vと0V)の本数をふやすと延長距離を延ばせます。注意:片線の線路抵抗値です。

(注) 1ペアの場合の距離です。

- プラス1ペアで、距離は2倍。
- プラス2ペアで、距離は3倍。

●電源線のことを考慮して、線径1.2mmの12P以上のケーブルを通線してください。(40局の可能距離は553mまで)

$$12(\text{ペア}) - 5(\text{ペア}) = 7(\text{ペア})$$

$$7 \times 79(\text{m}) = 553(\text{m})$$

●必要ペア数 = 延長距離 ÷ 電源線の可能距離 + 5ペア

※小数点以下は切り上げ

線径mm	最大抵抗 (20C)Ω/km(例)	配線延長可能距離			
		信号線	電源線(注)		
			50Ω以下	20~40局 2.5Ω以下	50~80局 2Ω以下
0.65	54.1	460m	23m	18m	9m
0.8	35.73	690m	34m	27m	13m
0.9	28.2	880m	44m	35m	17m
1.0	22.87	1,090m	54m	43m	21m
1.2	15.8	1,090m	79m	63m	31m
1.6	8.92	—	140m	112m	56m
2.0	5.65	—	221m	176m	88m
2.6	3.35	—	373m	298m	149m

■非常操作ユニットのソフトウェアバージョンアップ品であることの確認方法

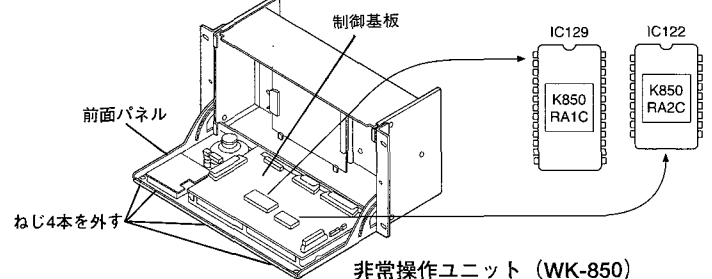
ラック形非常放送設備WL-7050/7550の非常操作ユニットWK-850のソフトウェアを製造番号5X0001

(1995年10月生産)以降から機能向上のため変更をしています。

非常リモコンの接続台数が最大4台から最大7台になります。

確認方法	バージョンアップソフト搭載品	従来品
製造番号	5X0001 (1995年10月生産分以降)	
非常操作ユニットのROM品番	K850RA1C K850RA2C	K850RA1~B K850RA2~B
パスワード入力画面	画面右上にver5.1	画面右上にver5.0

*ROM品番の調べかた



接続のしかた

■集中非常リモコンとの接続

本機 (WR-850/851) と非常用放送設備 (WL-7050/7550) の非常操作ユニット (WK-850) のソフトウェアを製造番号690001 (1996年9月生産) 以降から機能向上 [集中非常リモコンシステム対応] しています。これ以前の生産品に集中非常リモコン (WR-855) を接続する場合は、ソフトウェアバージョンアップ品のROMと、入出力制御ユニット (WU-R55) の交換が必要ですので、別途、事業部営業までお問い合わせください。

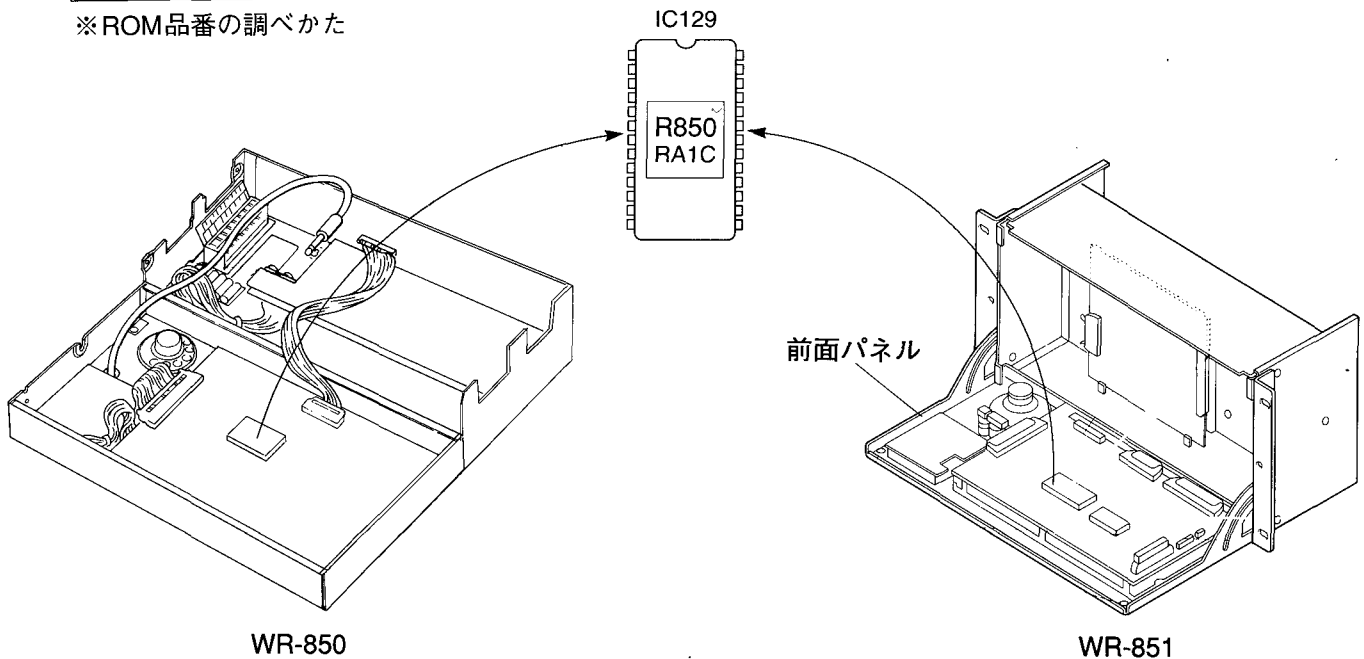
詳細は、非常用放送設備 (WL-7050/7550) の工事説明書 設置工事編、集中非常リモコン (WR-855) の取扱説明書をご参照ください。

※ WL-7050A / 7550Aは集中非常リモコンシステムに対応されています。

●ソフトウェアバージョンアップ品であることの確認方法

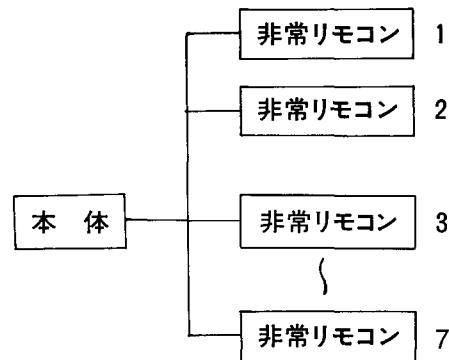
確認方法	バージョンアップソフト搭載品
製造番号	690001 (1996年9月生産分以降)
非常リモコンのROM品番※	R850RA1C以降

※ROM品番の調べかた



■接続台数について

●非常リモコンは最大7台まで接続できます。



●接続する台数により電源制御ユニット、非常電源ユニットの増設が必要になります。

●電源線は一組の接続端子から4台までです。

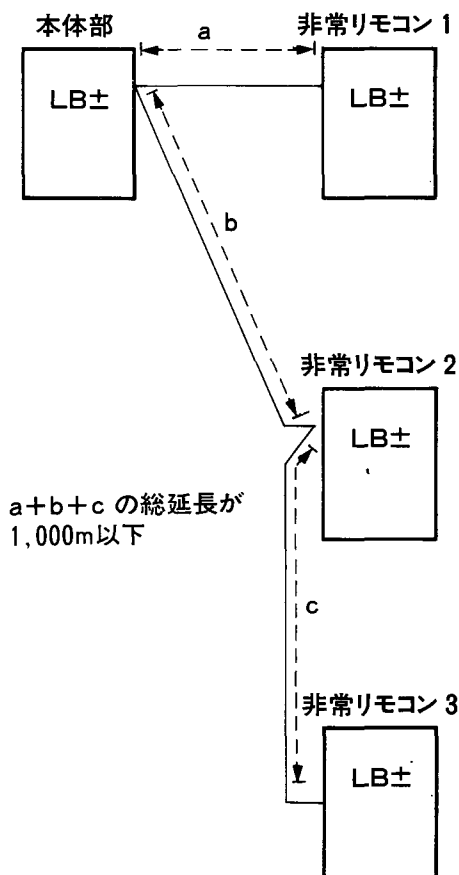
■データ線(LA±、LB±)の距離について

- データ線の総延長距離は1,000mまでです。
- 電源線については21ページを参照してペア数を決定してください。以下では1ペア(1P)として考えています。
- 複数の非常リモコンの接続の総延長距離が1,000m以下の場合は、データ線は並列に接続することができます：
：耐熱5対ケーブルで可能(以下5P方式)
- 総延長距離が1,000mを超える場合はデータ線を図のように中継することによって延長可能となります。(この場合でもそれぞれのデータ線の距離は1,000mまでです。)：
：耐熱6対ケーブル必要(以下6P方式)

	5P方式	6P方式
データ線総延長距離	1000m以下	1000m以上
配線形式	並列	中継
必要なデータ線数	耐熱5対ケーブル	耐熱6対ケーブル
配線のしかた	LB±→LB±	LB±→LA± RSB/G→RSA/G

●総延長距離1,000m以下の場合

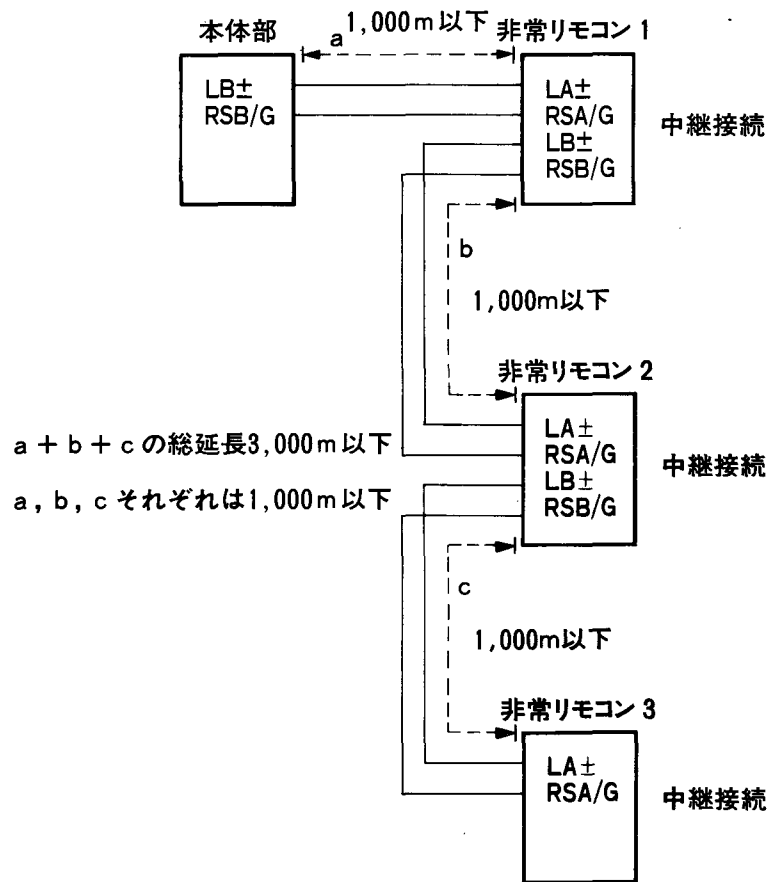
- データ線は並列接続が可能です。
- ケーブルは耐熱5対(5ペア)ケーブルが使用可能です。(以下5P方式という)



データ線総延長1,000m以下
(5P方式)

●総延長距離1,000m以上の場合

- データ線の接続は中継接続にします。(中継接続とはリモコンのブースタ機能を活用してデータの整形を行うことです)
- この場合でも、それぞれのデータ線の距離は1,000mまでです。
- ケーブルは耐熱6対(6ペア)ケーブルが必要です。(以下6P方式という)



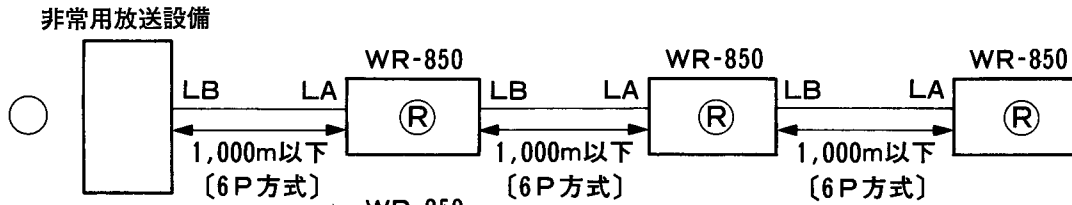
データ線総延長1,000m以上
(6P方式)

接続のしかた

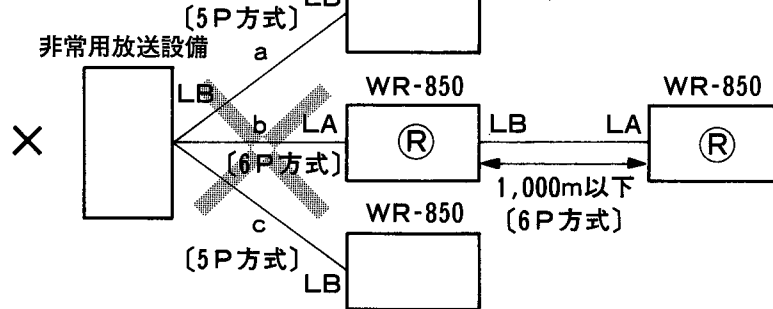
● 6P方式で接続するときの注意

6P方式の場合、配線上で以下のような注意が必要です。(中継接続の非常リモコンをⓇで表示しています。)

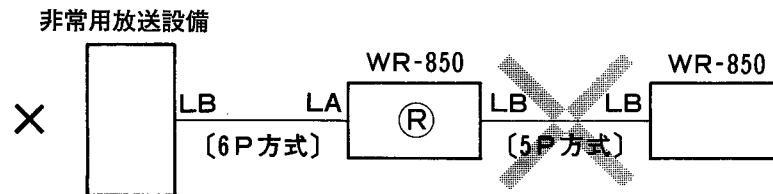
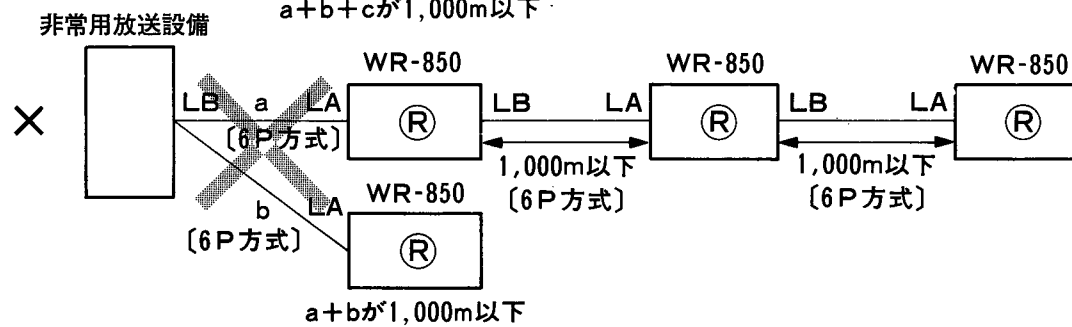
① 可能な接続例



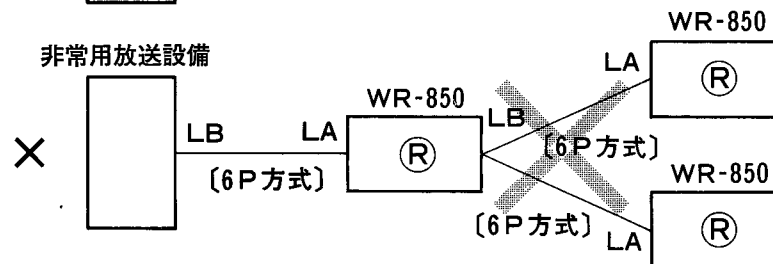
② 不可能な接続例



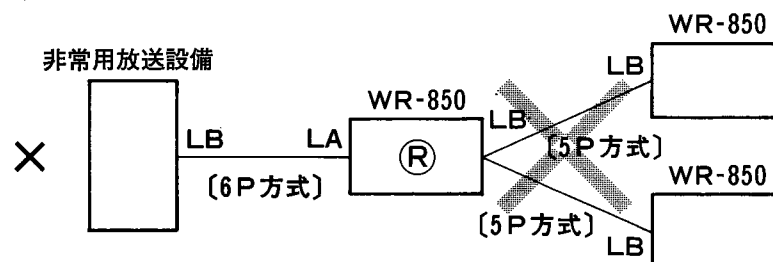
● 中継機能付きのWR-850がある場合は、本体から分岐できません。



● 中継機能付きのWR-850の次は中継機能付きのWR-850のみ。



● 中継機能付きのWR-850から分岐してはいけません。

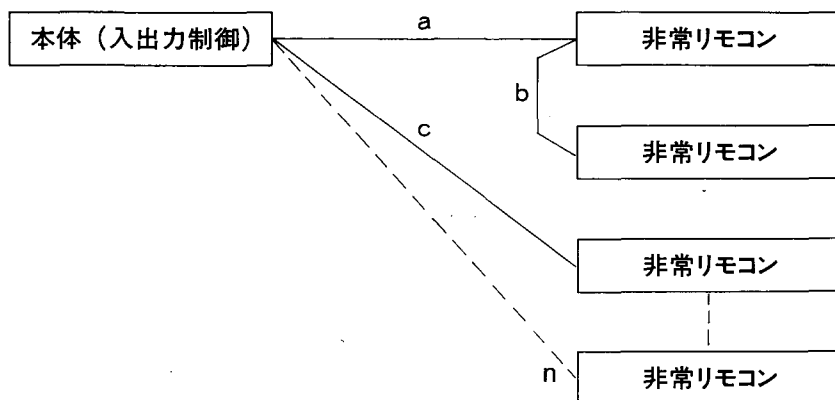


■ 接続例

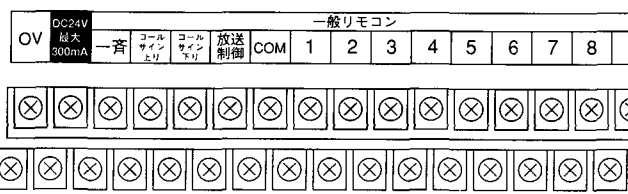
① 本体と非常リモコン間の総延長距離1,000m以下のとき〔5P方式〕

($a+b+c+\dots+n$ の総合計が1,000m以下)

電源線は線径と局数で延長距離の制約があります。(21ページ参照)

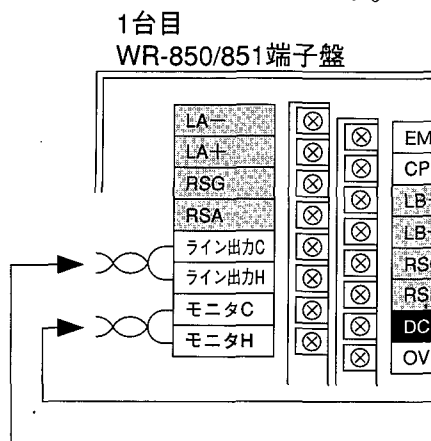
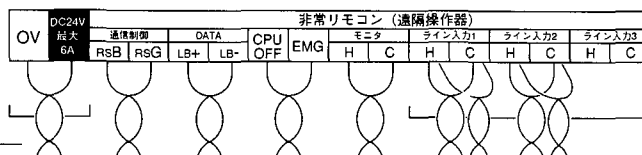


本体内入出力制御ユニットWU-R55前面端子盤



電源線(DC24V)
● 距離によりペア数を
ふやします。

非常リモコン接続端子



音声線
● ショートバーを
はずして接続
してください。
耐熱対形ケーブル
(消防用認定品)
並列接続

2台目 WR-850/851端子盤

* 5台目

* 6台目

● 上記並列接続のほかに次ページの中継接続(6P方式)も可能です。

* 5台目から入出力制御ユニットのライン入力端子1より並列接続します。

注意 1. 非常リモコン3台以上は並列接続しないでください。

2. 非常リモコンを5台以上接続する場合は入出力制御ユニットの非常リモコンヒューズの交換が必要です。

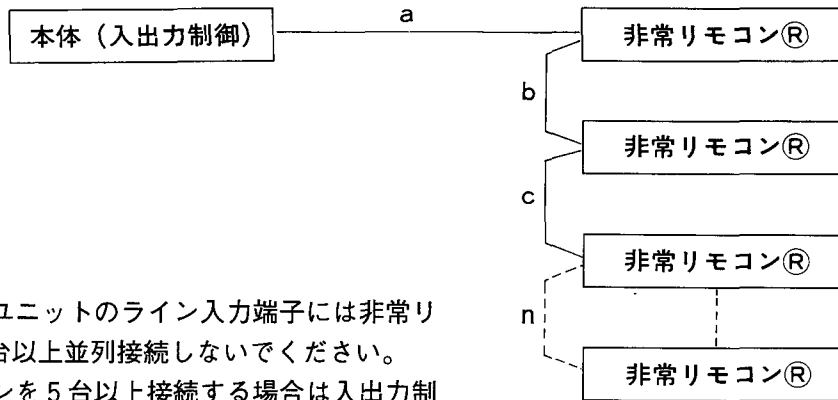
詳細はラック形非常放送設備WL-7050/7550, WL-7050A/7550Aの工事説明書を参照してください。

接続のしかた

② 総延長1,000m以上、かつ本体-非常リモコン間、非常リモコンどうしの距離が1,000m以下のとき(6P方式)

(a, b, c, …… nの各間が1,000m以下)

電源線は線径と局数で延長距離の制約があります。(21ページ参照)

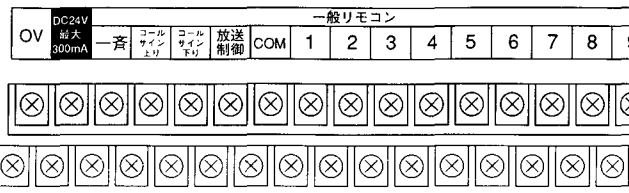


注意1. 出力制御ユニットのライン入力端子には非常リモコンを3台以上並列接続しないでください。

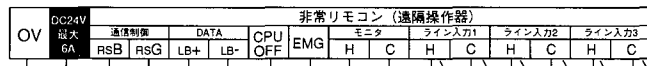
注意2. 非常リモコンを5台以上接続する場合は出力制御ユニットの非常リモコン用ヒューズの交換が必要です。

詳細はラック形非常用放送設備 WL-7050/7550, WL-7050A/7550Aの工事説明書を参照してください。

本体内出力制御ユニットWU-R55前面端子盤

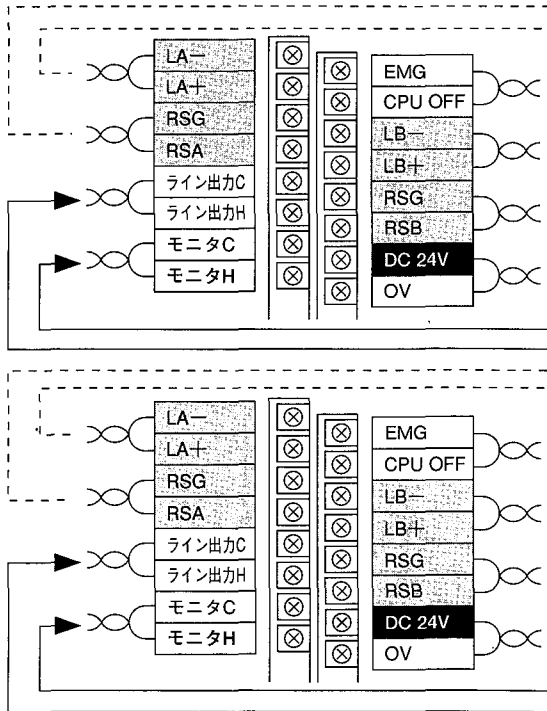


非常リモコン接続端子



電源線(DC24V)
●距離によりペア数を
ふやします。

WR-850/851端子盤

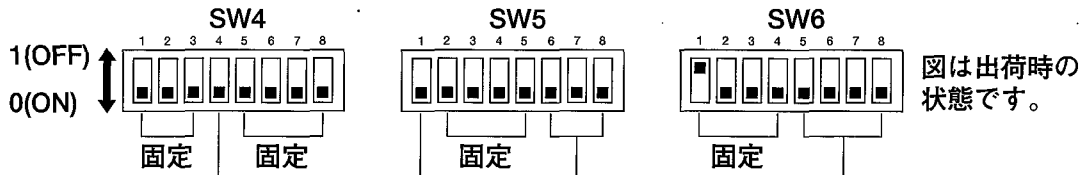


●耐熱対形
ペアー
ケーブル
(消防用
認定品)
全部で6対

* 5台目から出力制御ユニットのライン入力端子1より並列接続します。

----- の部分の配線が
前ページと異なります。

ディップスイッチの設定



※

マイクと業務入力のみキシング切換	<input type="checkbox"/> ハードチェックプロ
<input type="checkbox"/> ミキシングなし	<input type="checkbox"/> 運用(通常固定)
<input type="checkbox"/> ミキシングあり	

※本体マイクの放送を優先させて、業務入力の放送を止める(ミキシングなし)設定ができます。

本機能は、製造番号AK0001(2001年11月生産)以降の製品から対応しています。

台数	増設ユニットの接続台数		
	6	7	8
なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1台	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

アドレス	非常リモコン自身の番号(アドレス)				備考
	5	6	7	8	
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1台目
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2台目
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3台目
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4台目
5	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5台目
6	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	6台目
7	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7台目

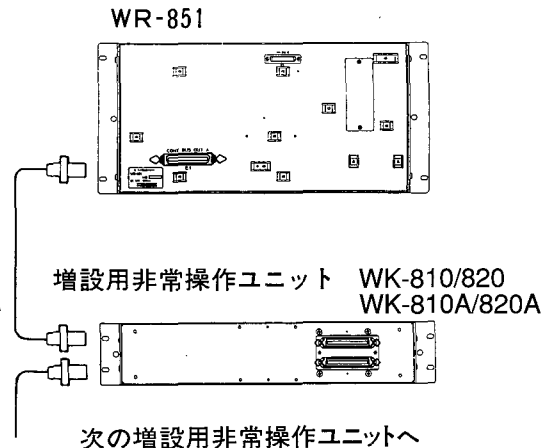
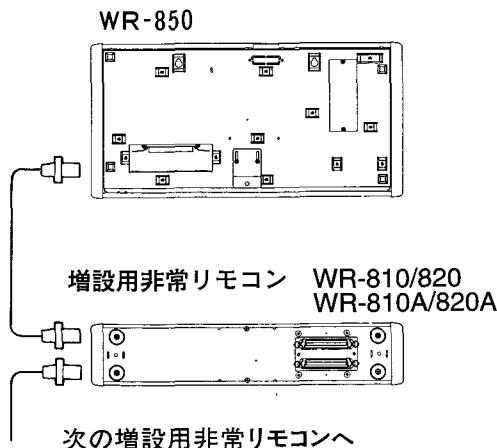
(ヌケやダブりのないようにします)

増設のしかた

- 使用しない50ピンコネクタにはキャップをしてください。(キャップは、非常リモコンに付いていたものをご利用ください。)
- 増設は10/20局単位で最大7ユニットまで増設できます。

● 増設ユニットの組み合わせ

非常リモコン	10局増設ユニット	20局増設ユニット
WR-850	WR-810 WR-810A	WR-820 WR-820A
WR-851	WK-810 WK-810A	WK-820 WK-820A

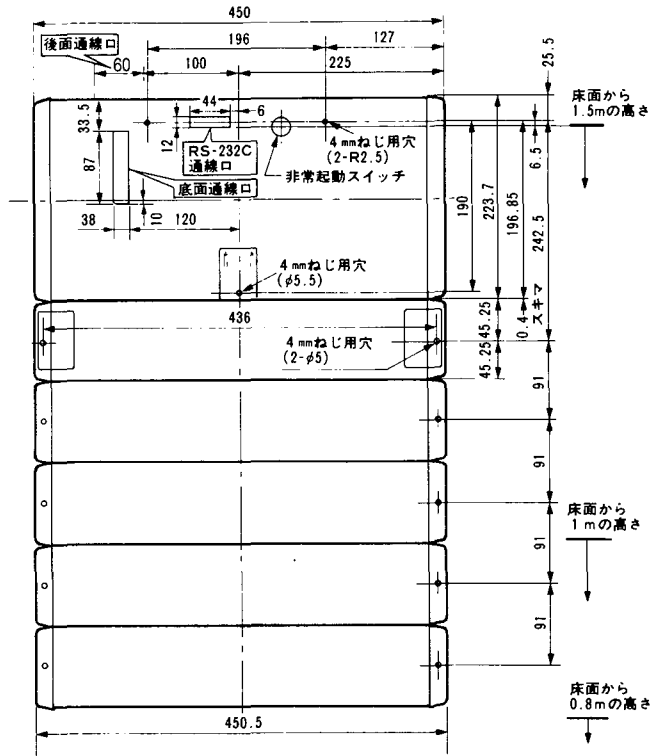


WR-850の壁掛けのしかた

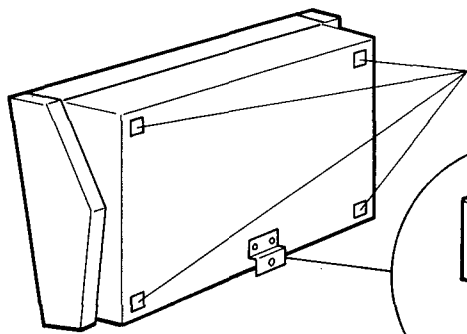
■取り付け穴寸法図

注意 ● 壁面の強度に十分ご注意ください。必要に応じ補強を行なってください。

● 壁面取付ねじは現地で調達願います。



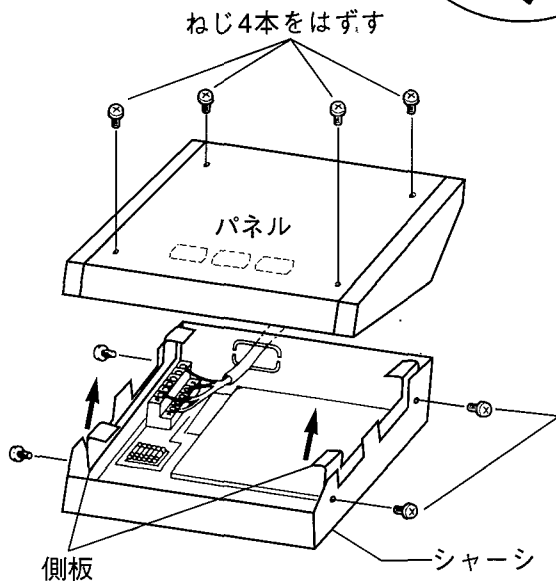
1



底面のゴム足4個を取り外します。

ねじ2本をゆるめ壁面固定アングルを矢印の方向にずらし、もう一度ねじを締め固定します。

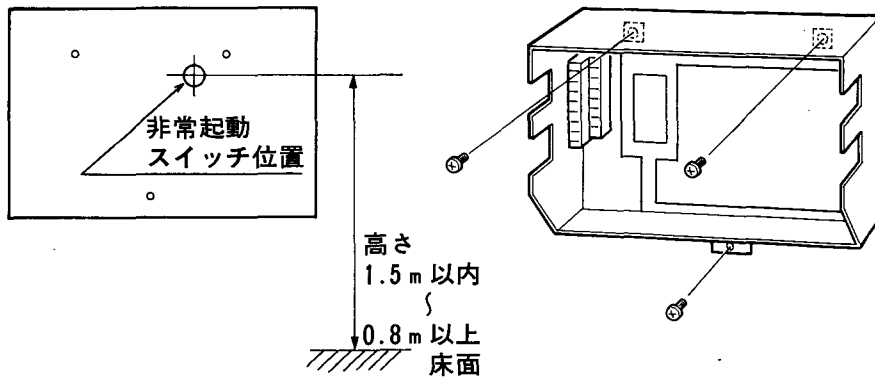
2



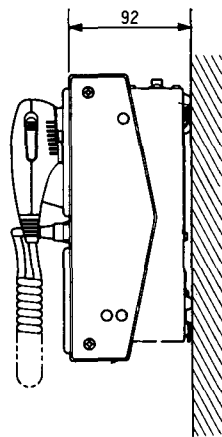
ねじ4本をはずす

ねじ4本をはずし、側板をシャーシと平行にしてねじを締め固定します

3 付属の取付用型紙を利用し、設置場所を決め、シャーシ部を壁面にねじ3本（現地調達）で取り付けます。



4 前面パネルと両側をもとどおりに取り付けます。



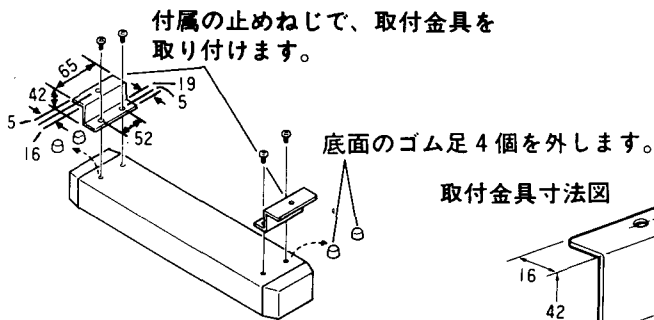
●通線孔は後面と底面にありますので、工事に都合の良いほうを使用してください。

■増設用非常リモコン〔WR-810,WR-820,WR-810A,WR-820A〕の取り付けかた

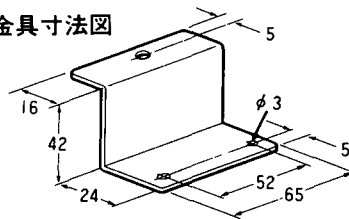
注意 ●壁面でご使用時は取付金具（WR-Q800：別売品）が必要です。

●WR-810／820の取付方法

1 付属の止めねじで、取付金具を取り付けます。



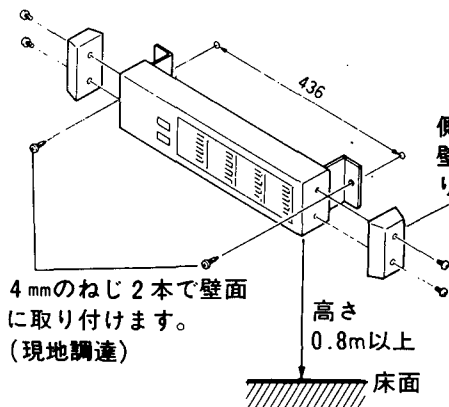
取付金具寸法図



2 側板を外します。壁面に取り付け後再び、本体に取り付けます。

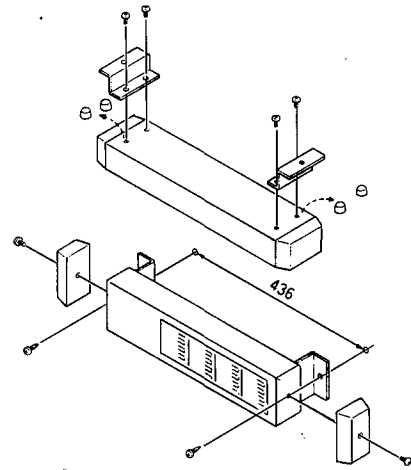
4 mmのねじ2本で壁面に取り付けます。
（現地調達）

高さ
0.8m以上
床面

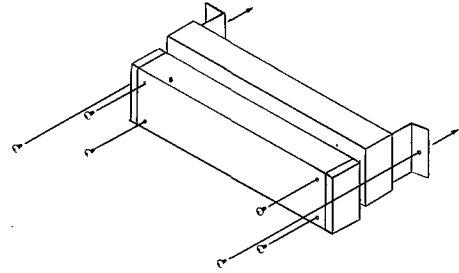


●WR-810A / 820Aの取り付けかた

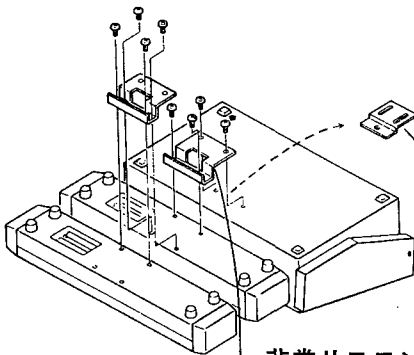
- ① ゴム足を外し、取付アングル (WR-Q800: 別売品) を取り付けます。
- ② 側板を外します。
※手順④の作業が困難な場所 (側面の壁の近く) に設置するときは、前面パネルの取付ねじ (4本) を外し、前面パネルごと側板を外してください。
- ③ 4 mmのねじ (2本) で固定します。
- ④ 側板 (または前面パネル) を元に戻します。



※手順④の作業が困難な場合

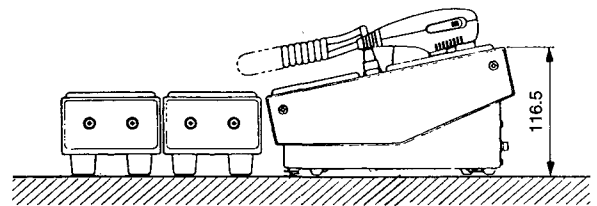


卓上でご使用の場合



非常リモコン裏面の壁面固定アングル
を外します。

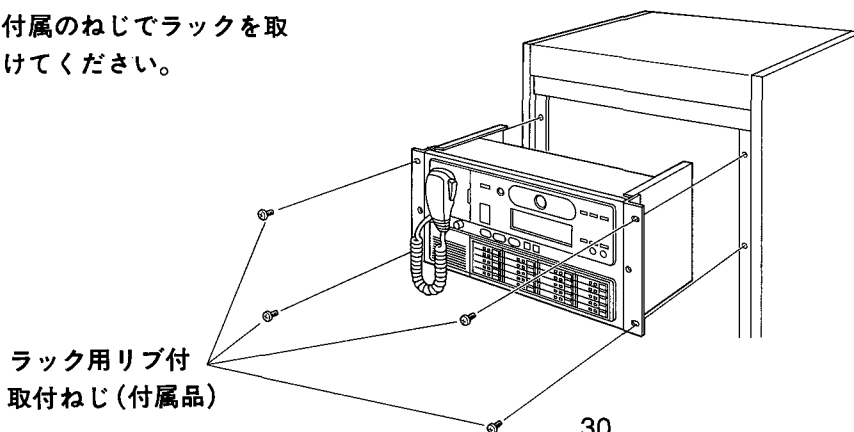
- 外したねじ穴に接続アングル(付属品)を取り付けます。
- 増設用非常リモコンを接続アングルにねじ(付属品)止めします。



設置高さにご注意 19ページ

WR-851のラックマウントのしかた

- 必ず付属のねじでラックを取り付けてください。



ラック用リブ付
取付ねじ(付属品)

30

取付け高さにご注意

19ページ

定格・付属品

■定格〈 〉内WR-851

電源：DC24V 500mA (本体より供給)

自火報連動モード：連動(出火階、連動階)、
連動一斉(一斉制御)

発報連動モード：発報連動、発報連動停止

非常放送制御：操作 非常起動SW
非常復旧SW
火災放送SW
非火災放送SW

表示 主電源 (緑)
連動一斉 (赤)
連動 (赤)
発報連動停止 (赤)
発報放送 (オレンジ)
火災放送 (赤)
非火災放送 (緑)
火災 (赤)

出力レベル
(LEDバーグラフ)
警報音及び操作音ブザー

選局制御：操作 放送階選択SW
緊急一斉SW
一斉放送SW
放送復旧SW
コールサインSW(上り、下り)
モニタ音量SW

表示 作動/短絡 (緑)
出火階 (赤)

液晶表示：放送手順、放送状態、異常表示(通信異常、回線短絡、蓄電池異常)

マイクドア部：発報連動停止SW

連動切換SW
蓄電池点検SW
コンピュータ制御入-切SW
コンピュータ異常表示
マイク異常表示

音声部

非常用マイク入力：-55dB 10k Ω AGC付き
(業務兼用) (マイクSW付き)×1

業務入力：0 dB 20k Ω 平衡×1

ライン出力：0 dB 600 Ω 平衡×1

モニタスピーカ：300mW

接続部

電源入力：DC24V 2A

(増設部含まず)

制御：EMG、コンピュータOFF、
モニタ入力×1、ライン出力×1

通信：LB+、LB-、LA+、LA-、
RSA、RSB、RSG

本体との接続：5対(10本)ペアケーブル
または、
6対(12本)ペアケーブル

寸法：450(幅)×116.5(高さ)×224(奥行き)mm
(480(幅)×221(高さ)×175(奥行き)mm)

質量：約4.9kg(約5.6kg)

仕上げ：AVアイボリー塗装鋼板
マンセル7.9Y 6.8/0.8 近似色

■付属品〈 〉内はWR-851

型紙(WR-851は無し).....1

マイクロホン.....1

記名シート(業務用).....3

操作説明書.....1

〈ラック用リブ付取付ねじ(M5×12)〉.....4

ヒューズ(160mA).....6

取扱説明書(本書).....1

保証書.....1

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この非常リモコンの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WR-850, 851
	販売店名	☎ () -				

松下電器産業株式会社

ブロードメディア本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410